

令和6年度(2024年度)第2回自転車のまちつくば推進委員会 次第

日時:令和6年(2024年)10月8日(火)
14時00分～

場所:つくば市役所コミュニティ棟 会議室1

1 開会

2 市長挨拶

3 委員長挨拶

4 議事

- (1) 市民アンケート調査結果を踏まえた現状と課題について
- (2) 施策及び措置について
- (3) 自転車ネットワークの検討について

5 その他

6 閉会

<配布資料>

- 資料1 市民アンケート調査結果を踏まえた現状と課題について
- 資料2 施策及び措置について
- 資料3 自転車ネットワークについて
- 参考資料1 計画策定までのスケジュールについて
- 参考資料2 つくば市自転車活用推進計画(案)

市民アンケート調査結果を踏まえた 現状と課題について

じてんしゃのまち
つくば市
Bikeable City Tsukuba



1. アンケート調査の概要

- 市民、市外来訪者を対象とした下記のアンケート調査を実施。

<調査対象と実施方法>

調査対象		実施方法・期間	把握したい主な事項	回収数
市民	① 16歳 以上	【アンケート調査】 ・実施方法： 紙の調査票を郵送配布・回収、 又はQRコードからWEB回答 ・実施期間： 令和6年7月30日～8月20日	・自転車の所有状況、車種 ・つくチャリ（シェアサイクル）の認知度、 利用状況 ・自転車利用環境全般へのニーズ ・自転車通行空間、駐輪、ルール・マナーに 関する現状と課題 ・歩行者やドライバーからの不満	980票
	② 中学生	【アンケート調査】 ・実施方法： QRコードからWEB回答 ・実施期間： 令和6年7月8日～7月28日		331票
③ 市外来訪者		【アンケート調査】 ・実施方法： 市外在住者を対象として、調査 事業者モニターへのWEBアン ケート調査を実施 ・実施期間： 令和6年7月26日～7月29日	・観光、サイクリング目的からの 自転車利用環境へのニーズ	264票

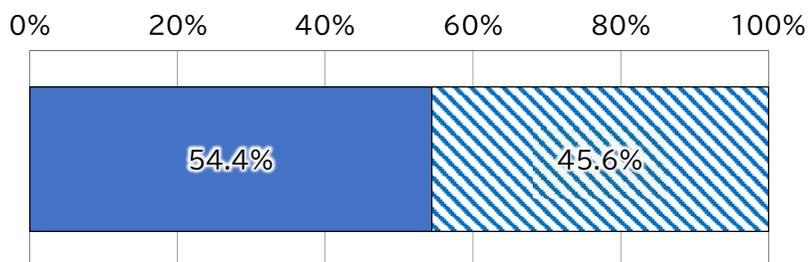
2. アンケート調査の主な結果（速報）

(1) 自転車の所有状況・車種

- 自転車を所有している人は、市民が54.4%、中学生が92.4%。
- 最も多い車種は、市民・中学生ともにシティサイクル（電動アシストなし）。

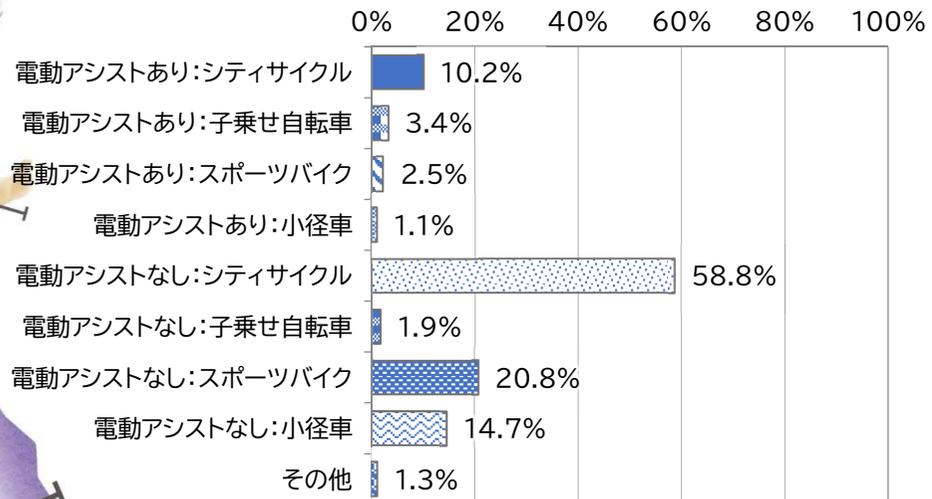
<市民>

Q: あなたが所有しており、普段利用している自転車はありますか



■自転車を所有している ■自転車を所有していない
n=972（無効回答を除く）

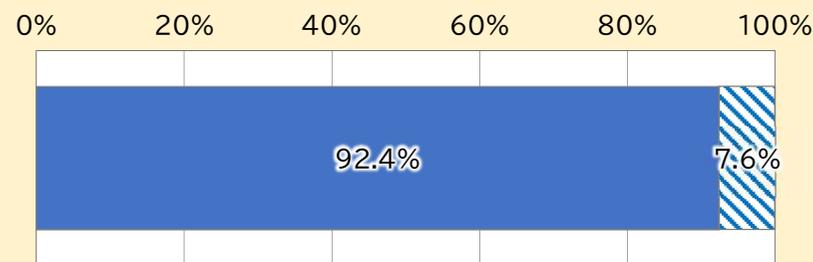
Q: あなたが所有しており、普段利用している自転車の車種について教えてください（いくつでも）



n=529（複数回答）

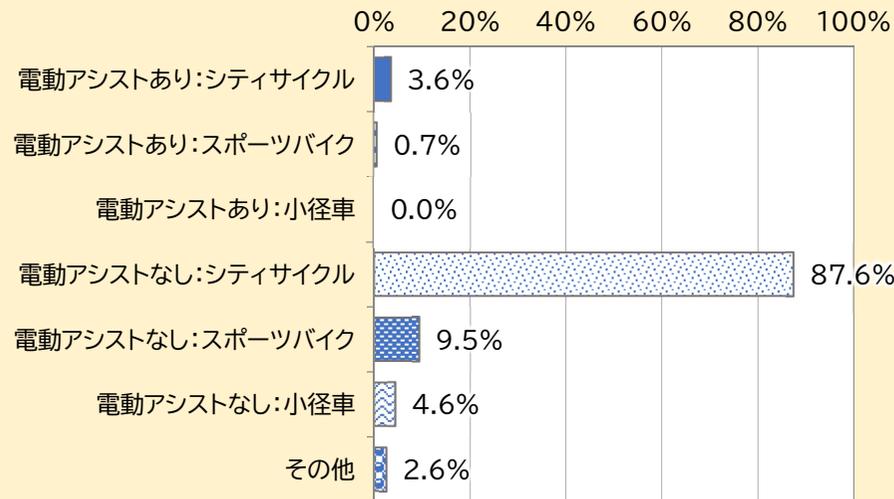
<中学生>

Q: あなたが所有しており、普段利用している自転車はありますか



■自転車を所有している ■自転車を所有していない n=331

Q: あなたが所有しており、普段利用している自転車の車種について教えてください（いくつでも）



n=306（複数回答）

2. アンケート調査の主な結果（速報）

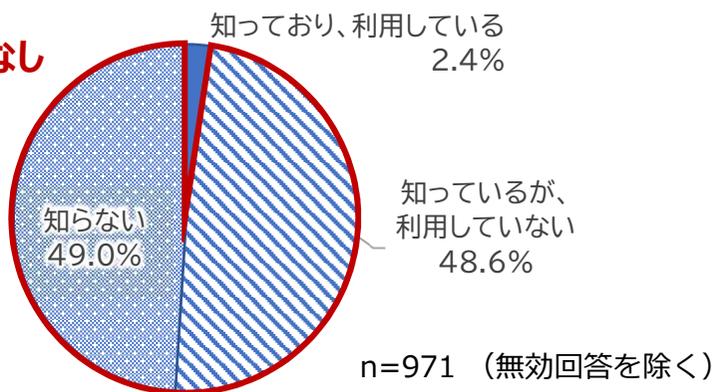
(2) つくチャリ（シェアサイクル）の認知度・利用状況

- つくチャリは、ほとんどが「利用経験なし（市民97.6%、中学生94.4%）」。
- つくチャリの満足度は、「満足」「やや満足」が（利用した市民の47.8%、中学生81.8%）、「不満」「やや不満」が、（利用した市民の30.4%、中学生の9.0%）。

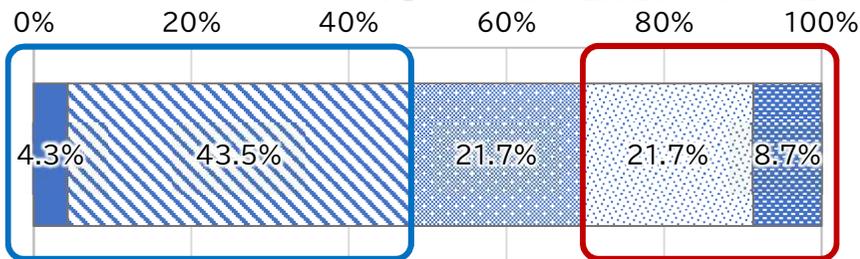
<市民>

Q:あなたは「つくチャリ」を知っていますか
知っている方は、利用していますか

利用経験なし
97.6%



Q:「1.知っており、利用している」を選んだ方
「つくチャリ」に対する満足度を教えてください

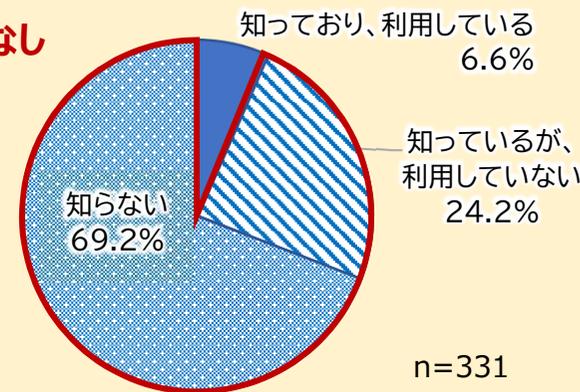


■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらでもない
■ やや不満である ■ 不満である

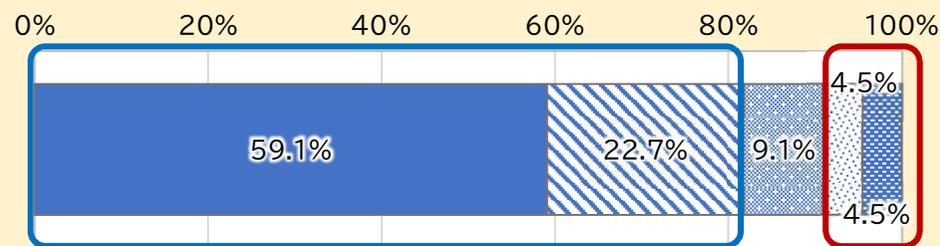
<中学生>

Q:あなたは「つくチャリ」を知っていますか
知っている方は、利用していますか

利用経験なし
94.4%



Q:「1.知っており、利用している」を選んだ方
「つくチャリ」に対する満足度を教えてください



■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらでもない
■ やや不満である ■ 不満である

2. アンケート調査の主な結果（速報）

市民

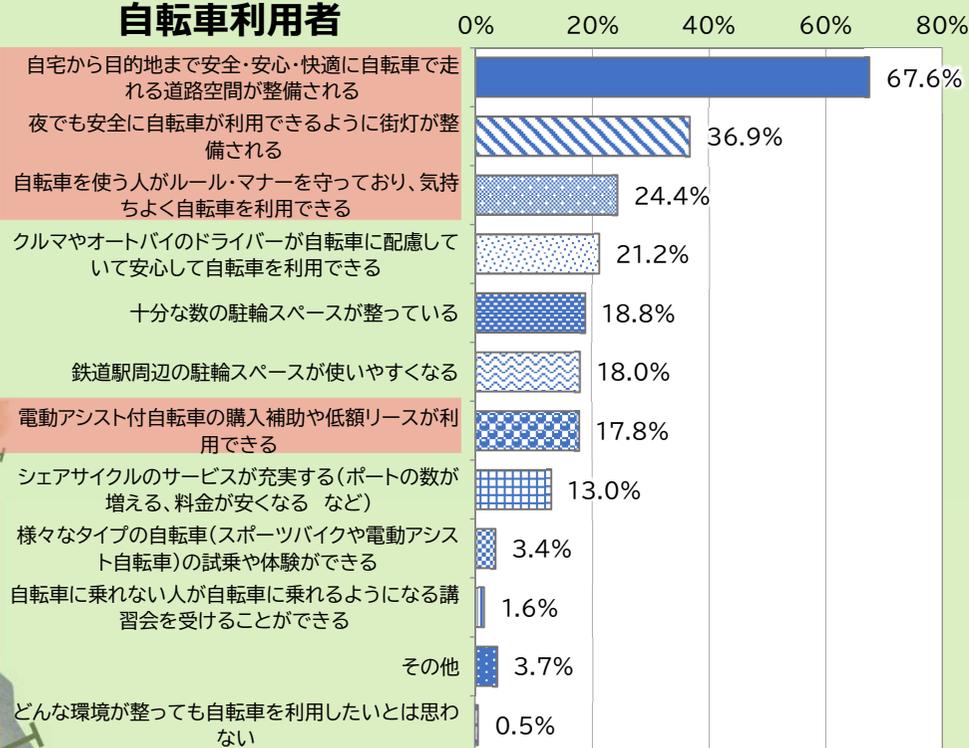
（3）自転車利用環境全般へのニーズ（市民がより自転車を利用しようと思う条件【日常利用】）

- 市民がより自転車を利用しようと思う条件（日常利用）は、
 - ・ 自転車利用者も非自転車利用者も「安全・安心・快適な自転車通行空間整備」が最も高く、次いで「街灯の整備」、「自転車利用者のルール・マナー」。
 - ・ 非自転車利用者は、「電動アシスト付自転車の購入補助や低額リース」が自転車利用者よりも高い割合。

【場面①：日常利用（通勤・通学、買い物等）】

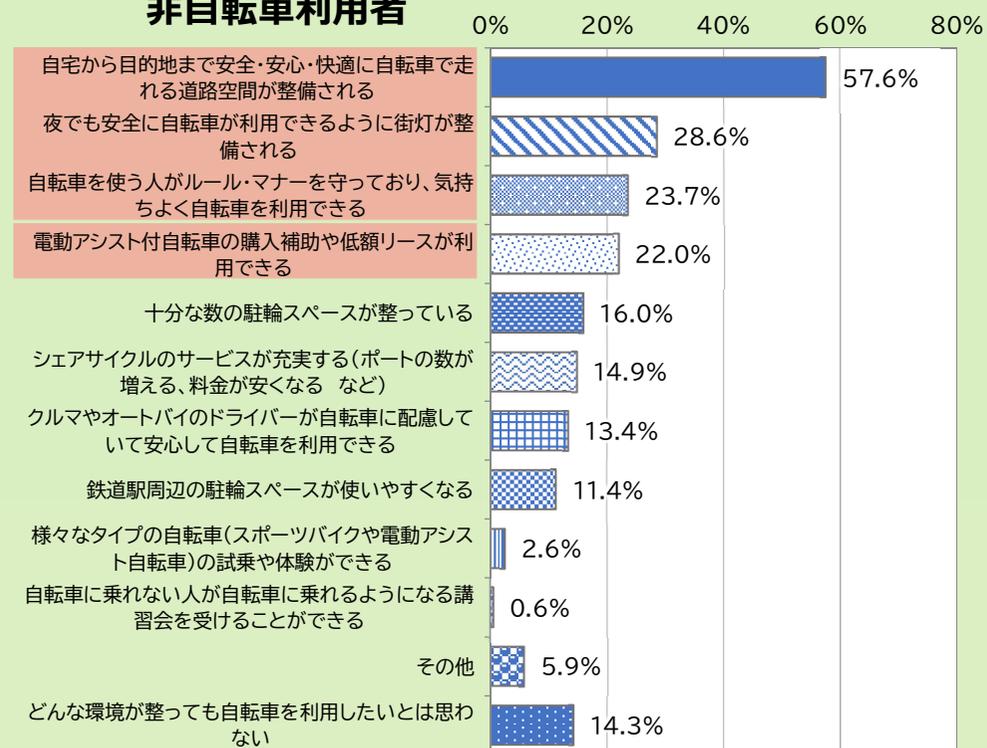
Q: 今後、どのような条件が整えば、より自転車を利用しようと思いますか。また、自転車を利用していない方は、自転車を利用してもよいと思いますか。利用しよう（または利用してもよい）と思う場面毎に教えてください。（最大3つ）

自転車利用者



n=377（複数回答）

非自転車利用者



n=545（複数回答）

2. アンケート調査の主な結果（速報）

市民

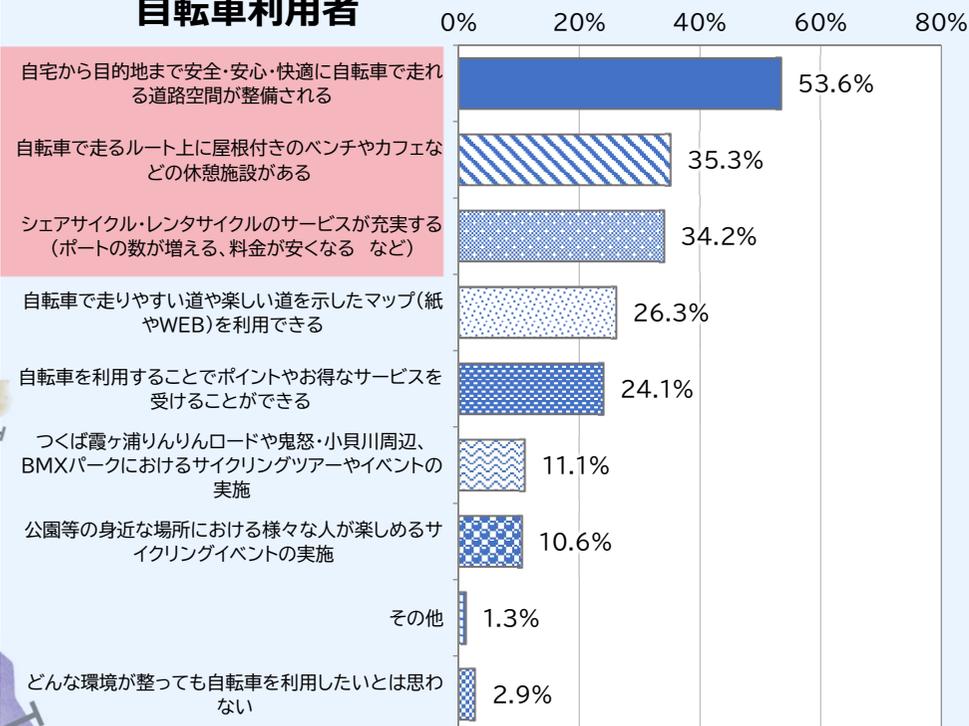
(3) 自転車利用環境全般へのニーズ（市民がより自転車を利用しようと思う条件【観光利用】）

- 市民がより自転車を利用しようと思う条件（観光利用）は、
 - ・ 自転車利用者も非自転車利用者共に「自宅から目的地まで安全・安心・快適に自転車で走れる道路空間整備」が最も高い割合。
 - ・ 次いで、「屋根付きのベンチやカフェなどの休憩施設」、「シェアサイクル・レンタサイクルのサービスの充実」。

【場面②：観光・レジャー利用：】

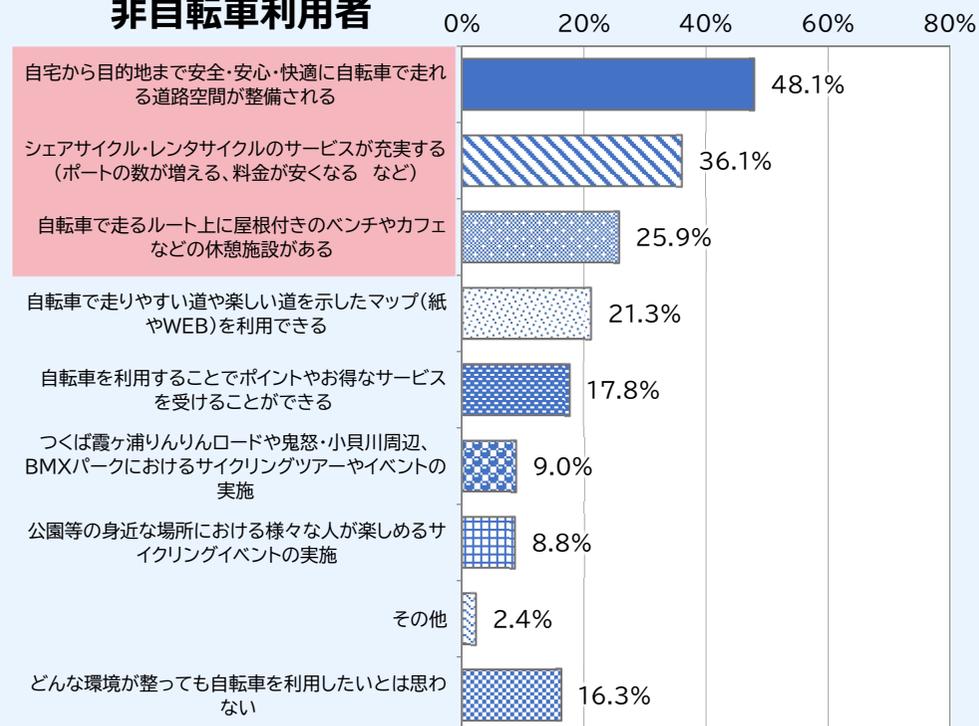
Q: 今後、どのような条件が整えば、より自転車を利用しようと思いますか。また、自転車を利用していない方は、自転車を利用してもよいと思いますか。利用しよう（または利用してもよい）と思う場面毎に教えてください。（最大3つ）

自転車利用者



n=377（複数回答）

非自転車利用者



n=545（複数回答）

2. アンケート調査の主な結果（速報）

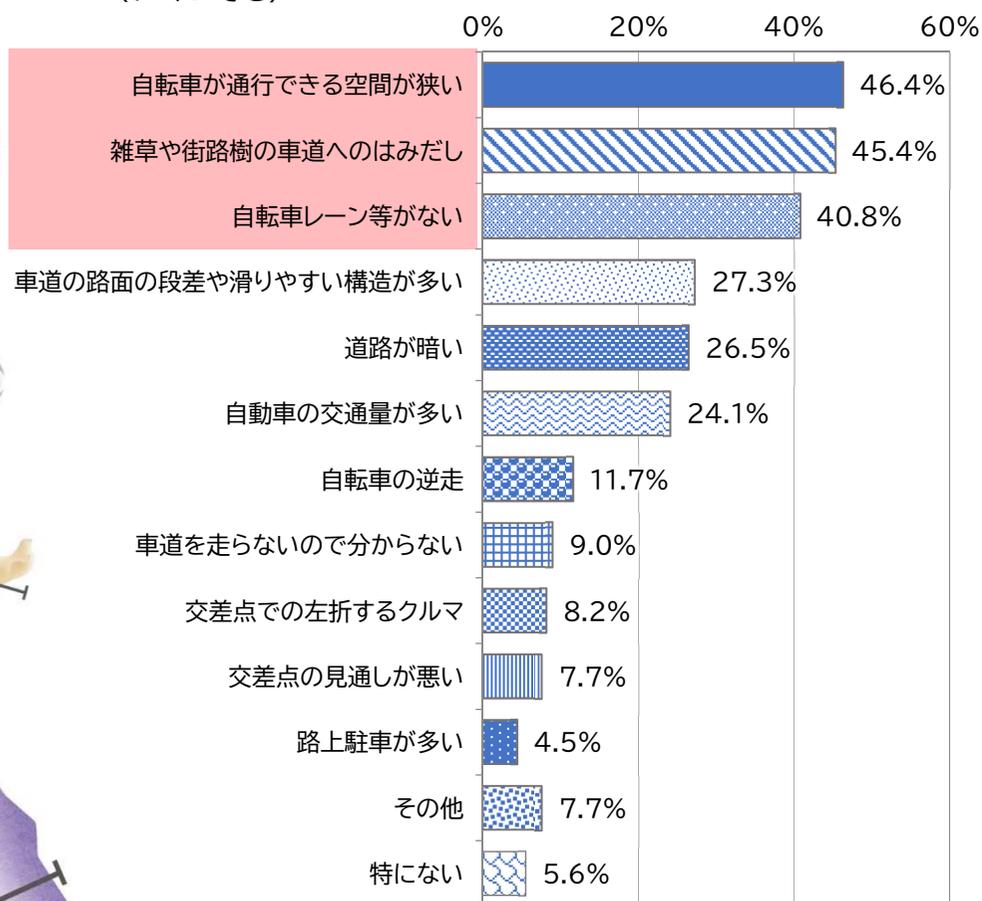
市民

（4）自転車通行空間に関する現状と課題（車道通行時の不安・走りにくいと感じていること）

- 市民が車道通行時に不安・走りにくいと感じていることは、「自転車通行空間の狭さ」、「雑草や街路樹の車道へのはみだし」、「自転車通行空間がないこと」。

<市民>

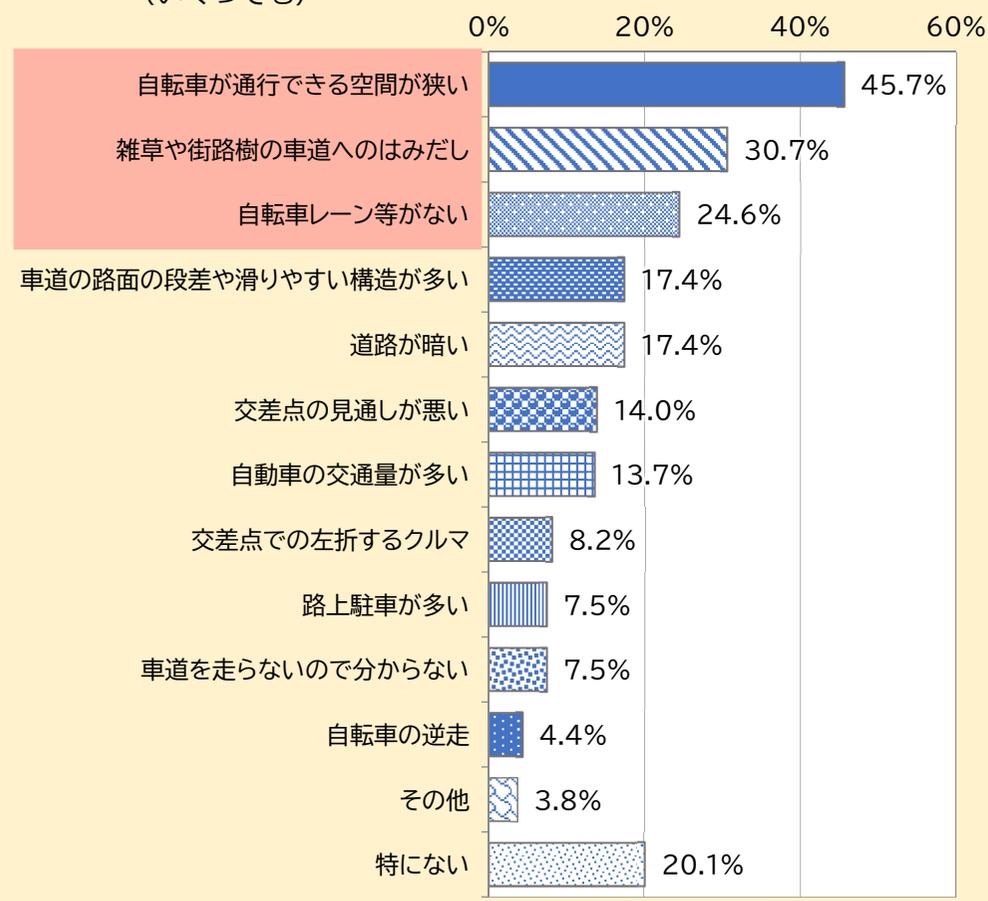
Q: あなたがお住いの地域での道路の左側を自転車で走行する際に不安・走りにくいと感じていることについて教えてください（いくつでも）



n=377（複数回答）

<中学生>

Q: あなたがお住いの地域での道路の左側を自転車で走行する際に不安・走りにくいと感じていることについて教えてください（いくつでも）



n=293（複数回答）

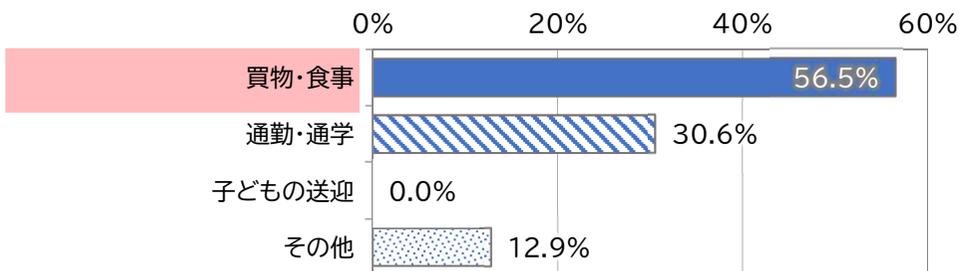
2. アンケート調査の主な結果（速報）

（5）駐輪に関する現状と課題

- 鉄道駅周辺の駐輪場利用目的は、「買い物・食事」が最も多い（市民56.5%、中学生50.8%）。
- 駐輪場の改善点として、「駐輪台数の少なさ」、「1台分のスペースの狭さ」が多い。

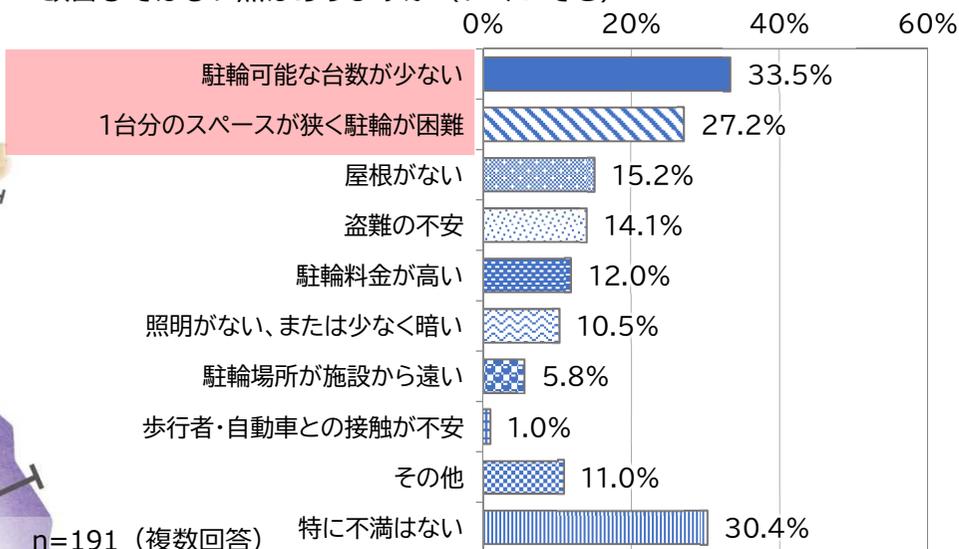
<市民>

Q: 鉄道駅周辺の自転車駐輪場を利用する主な目的を教えてください



n=186（無効回答を除く）

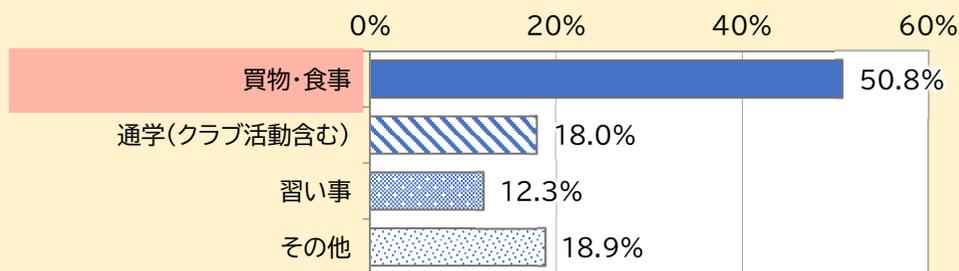
Q: 利用している自転車駐輪場について改善してほしい点がありますか（いくつでも）



n=191（複数回答）

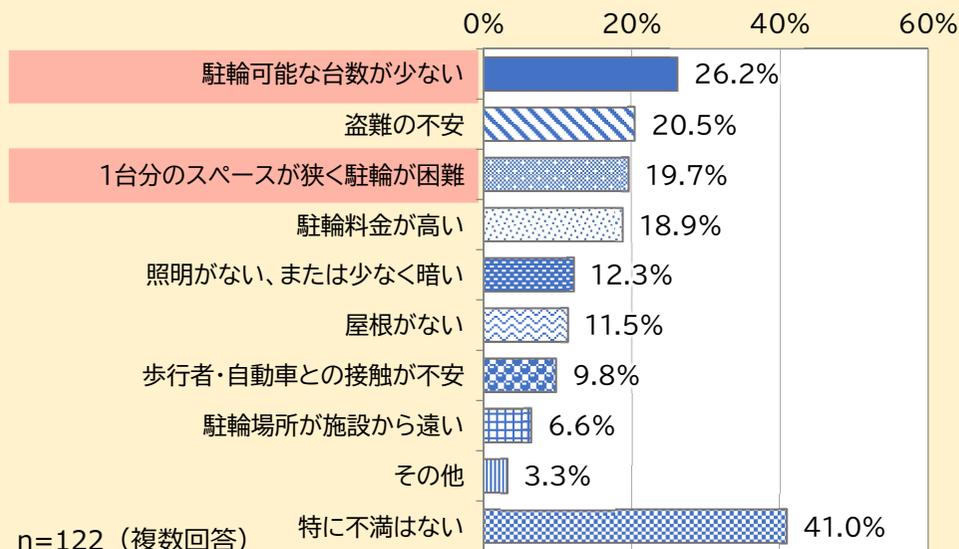
<中学生>

Q: 鉄道駅周辺の自転車駐輪場を利用する主な目的を教えてください



n=122

Q: 利用している自転車駐輪場について改善してほしい点がありますか（いくつでも）



n=122（複数回答）

2. アンケート調査の主な結果（速報）

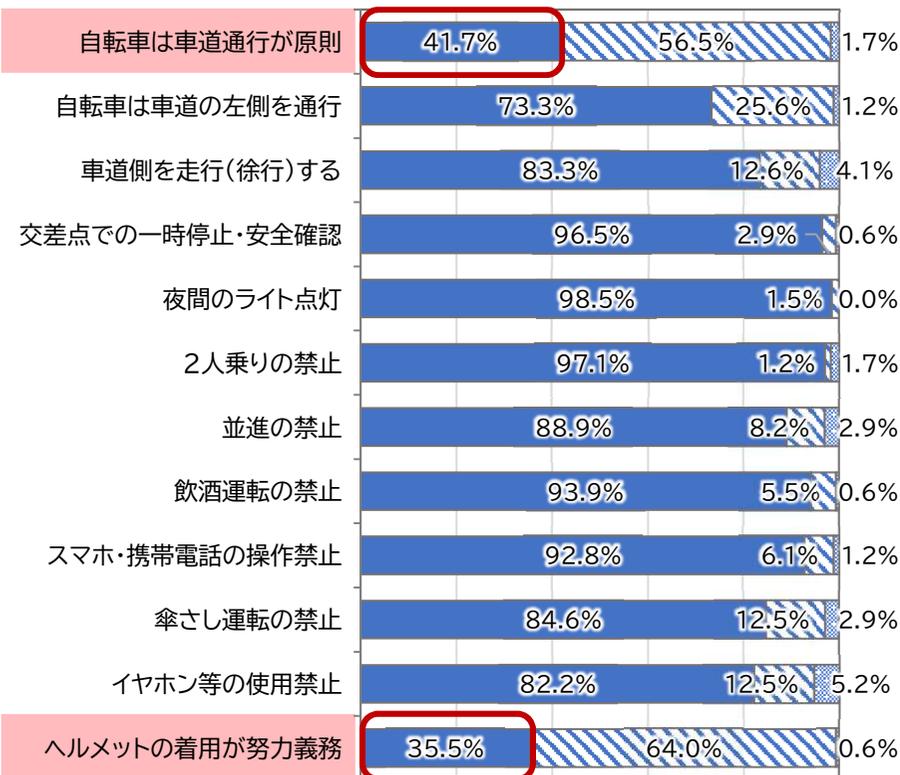
市民

（6）ルール・マナーに関する現状と課題（自転車の交通ルールの認知・順守状況）

- 自転車の交通ルールは概ね認知されているものの、自転車の車道通行原則を遵守している市民は41.7%。
- 中学生は、「並進の禁止」を「守っている（63.1%）」「守っていない（33.1%）」。
- ヘルメット着用努力義務について、市民の35.5%、中学生の78.8%が遵守。

<市民（自転車利用者）>

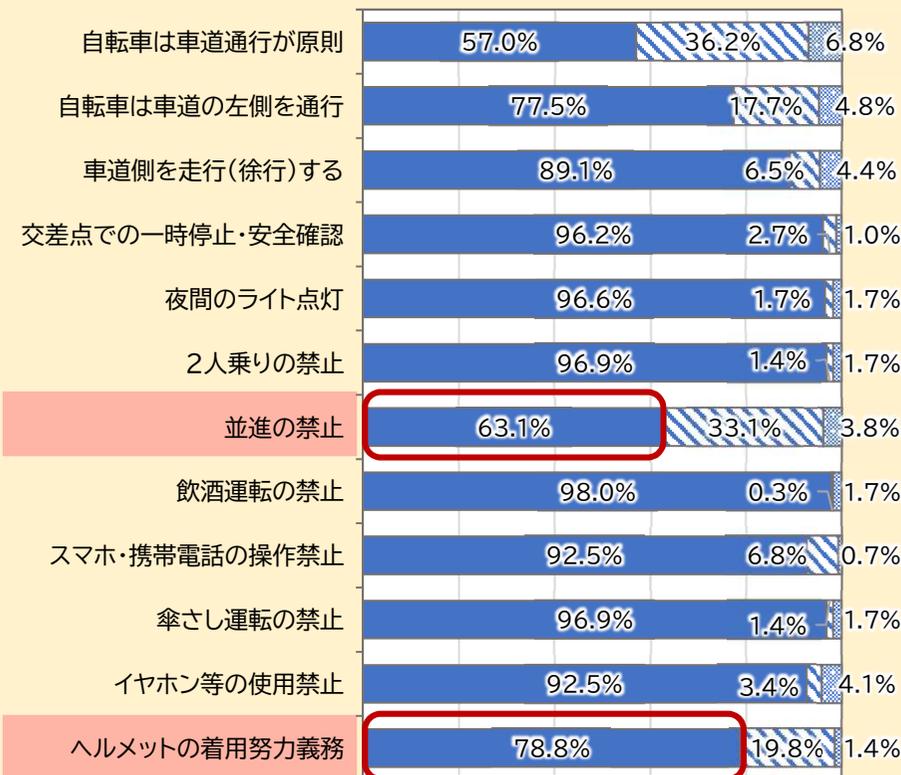
Q: あなたは下記の自転車交通ルールを知っていますか
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■知っており、守っている ■知っているが、守ることができていない ■知らない
(無効回答を除く)

<中学生（自転車利用者）>

Q: あなたは下記の自転車交通ルールを知っていますか
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■知っており、守っている ■知っているが、守ることができていない ■知らない
n=293 (無効回答を除く)

2. アンケート調査の主な結果（速報）

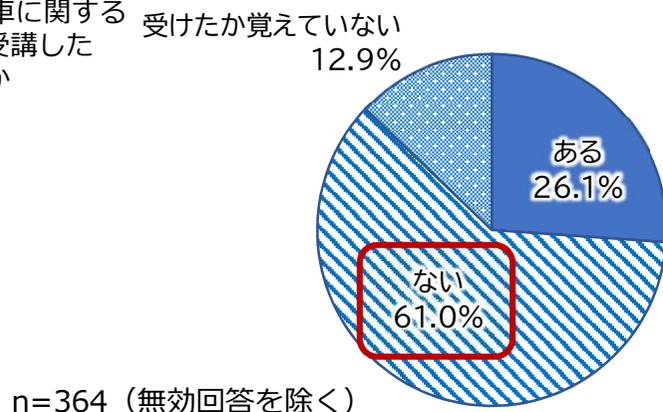
市民

(6) ルール・マナーに関する現状と課題（交通安全教育の受講経験、保険加入状況）

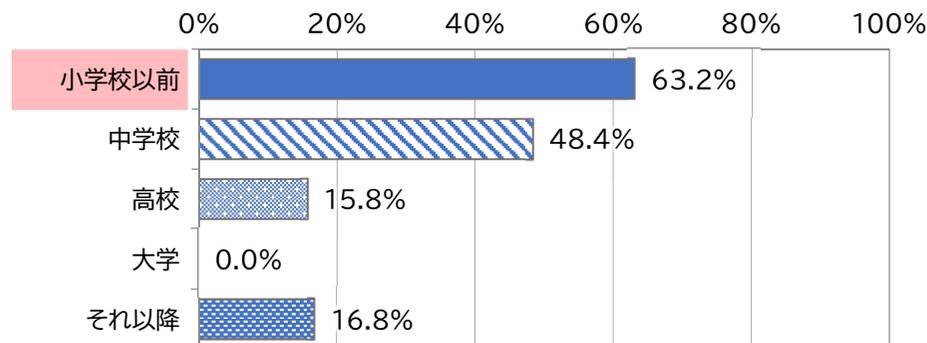
- 自転車利用に関する交通安全教育は、「受講経験がない（61.0%）」が最も多く、受講経験者の受講時期は、「小学校以前（63.2%）」が最も多い。
- 自転車保険状況は、「加入していない」、「加入しているか分からない」市民が約41%。

<市民（自転車利用者）>

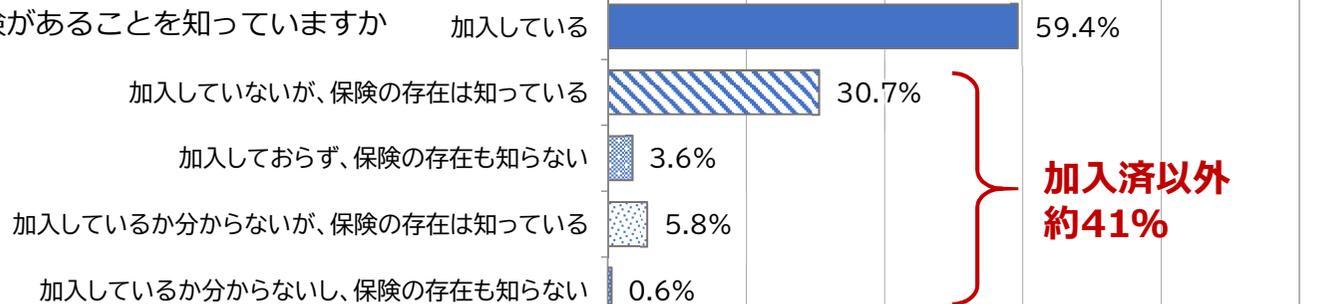
Q: いままで自転車に関する交通安全講習を受講したことはありますか



Q: これまでに交通安全教育を受講した時期はいつですか（いくつでも○）



Q: あなたは自転車保険に加入していますか
また、そのような保険があることを知っていますか



2. アンケート調査の主な結果（速報）

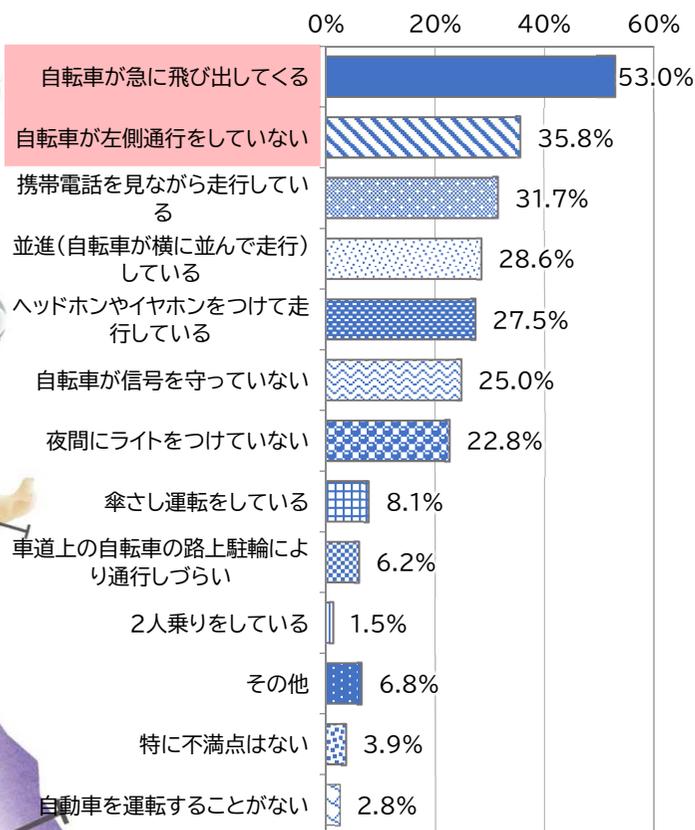
市民

(7) 歩行者やドライバーからの不満

- 歩行者は、自転車に対して「一時停止せずに飛び出し」や「携帯電話のながら運転」が不満の上位。
- ドライバーは、自転車に対して「急な飛び出し」や「左側通行していないこと」が不満の上位。

<市民（非自転車利用者）>

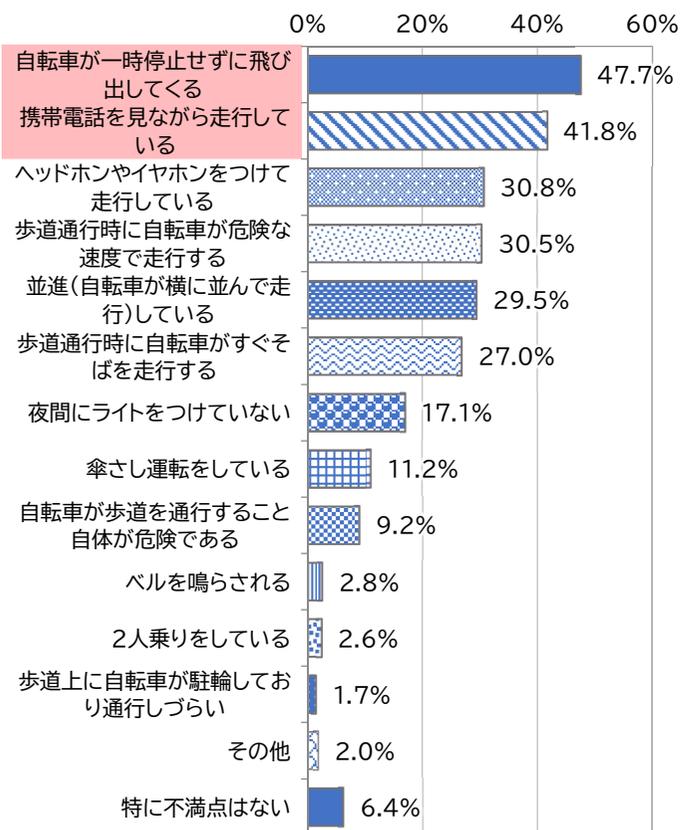
自動車（ドライバー）視点



n=545（複数回答）

Q:歩行者の視点から自転車利用者に対して危険を感じる場面や不満について教えてください（最大3つ）

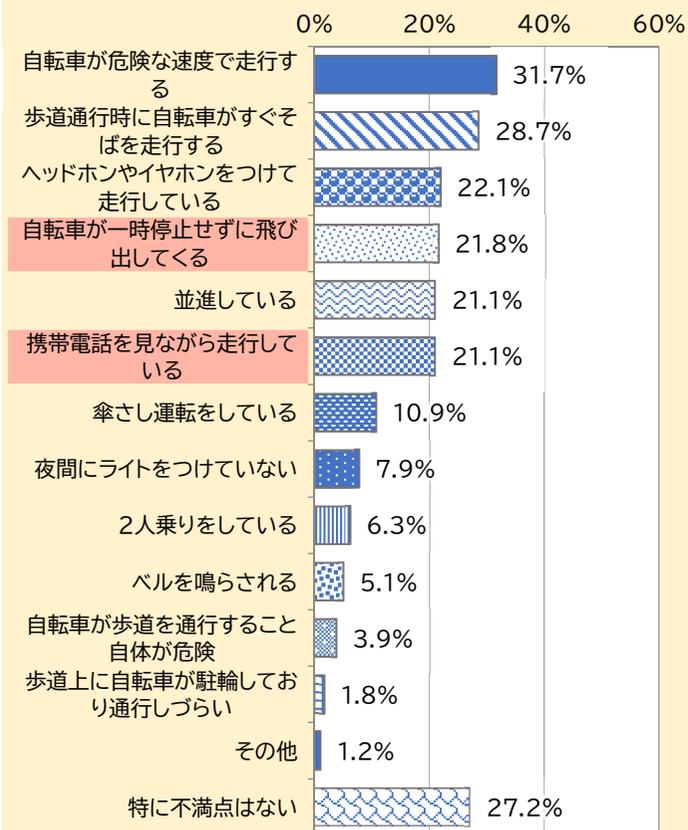
歩行者視点



n=545（複数回答）

<中学生>

歩行者視点



n=331（複数回答）

2. アンケート調査の主な結果（速報）

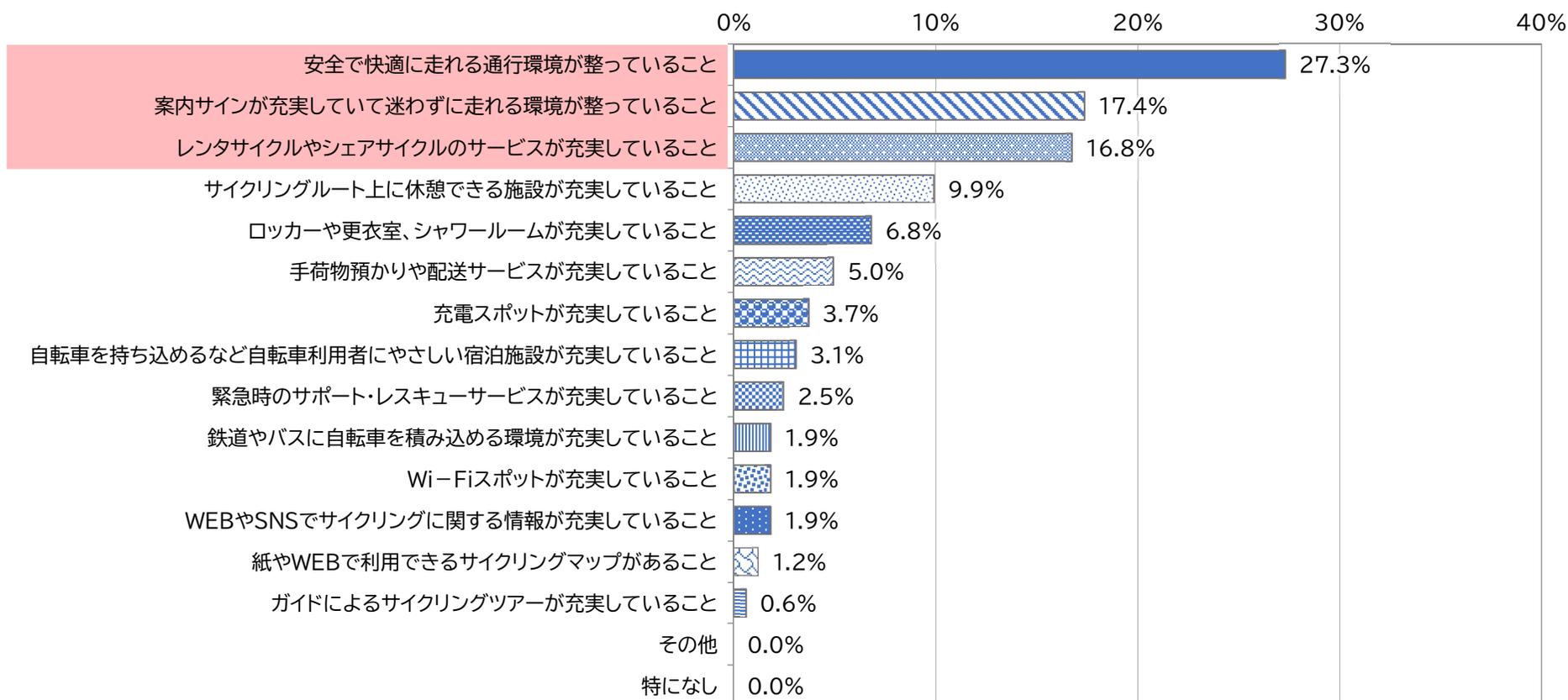
市外来訪者

(8) 観光、サイクリング目的からの自転車利用環境へのニーズ

- 観光目的で自転車利用する際にあるとよい整備・サービスとして、**「安全・快適な通行環境」**、**「充実した案内サイン」**、**「レンタサイクルやシェアサイクルのサービス充実」**が上位を占める。

(整備・サービスの要望)

Q: つくば市内で観光やサイクリング目的で自転車を利用する際、どのような整備・サービスがあればより観光やサイクリングを楽しめると感じましたか。



2. アンケート調査の主な結果（速報）

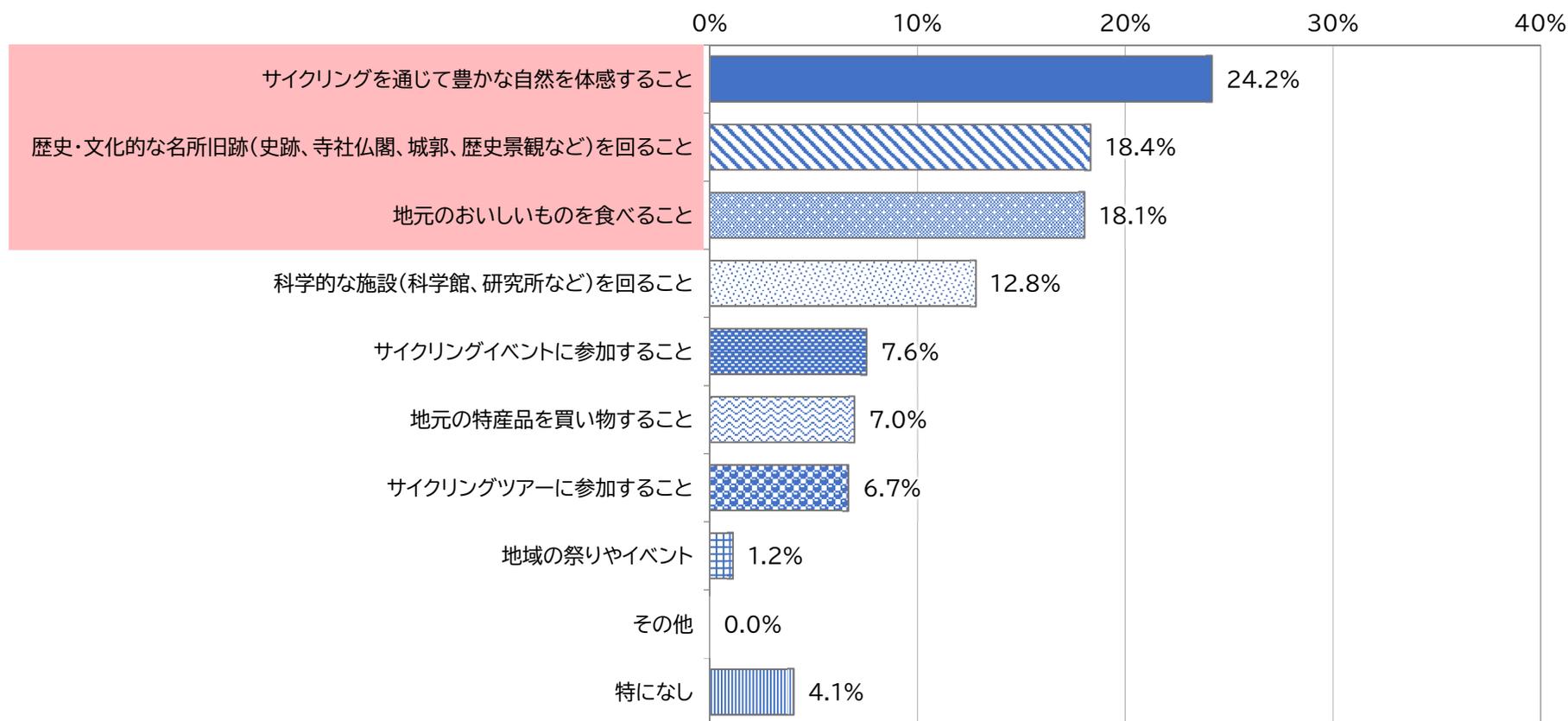
市外来訪者

(8) 観光、サイクリング目的からの自転車利用環境へのニーズ

- 観光目的で自転車利用する際に、楽しみにすること・期待することとして、**「サイクリングを通じた豊かな自然体験」**、**「歴史・文化的な名所旧跡巡り」**、**「地元のおいしいものを食べること」**が上位を占める。

(自転車の利用で期待すること)

Q: つくば市で観光やサイクリング目的で自転車を利用する場合、楽しみにすること・期待することを教えてください。



n=343 (複数回答)

3. 現状のまとめ (1 / 2)

課題やニーズ：太字・下線
 市民・市外来訪者への調査結果：青字

項目	現状
地勢・人口等	<ul style="list-style-type: none"> 東西に約16km、南北に約32kmの広さ、平坦な地形。市の北東部には筑波山を有し、自然環境に恵まれている。 過去15年間で人口は増加。将来人口としては、約29万人（2050年）をピークに減少していくと推計。
交通基盤	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道は1路線（つくばエクスプレス）4駅が立地しており、民間路線バスは35路線が運行。 コミュニティバス「つくバス」、乗り合いタクシー「つくタク」、筑波地区支線型バス「つくばね号」が運行。 市内で約30箇所が主要渋滞箇所指定（国道354、408号や県道藤沢豊里線、市道洞峰公園周辺等）。 市民の交通安全環境等に対する不満として、「通学路等の子どもの安全対策」、「自転車専用道路や歩道の整備」が上位。 市民がより自転車を利用しようと思う条件（日常利用）は、「安全・安心・快適な自転車通行空間整備」、「夜間でも安全に自転車利用できるように街灯の整備」、「自転車利用者のルール・マナー」である。 つくば駅周辺の自転車専用通行帯や、国道408号・県道において車道混在の自転車通行空間が整備。また、つくば駅周辺には、歩行者・自転車が通行可能なペDESTリアンデッキが整備。 市の周辺4市で自転車NW計画が策定、県はいばらき自転車ネットワーク（つくば霞ヶ浦りんりんロード、鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮称)等)を設定。
交通特性 (移動関連)	<ul style="list-style-type: none"> 代表交通手段分担率は、自動車が62.9%で最も高い。 県南部地域の他市町の中では自転車の代表交通手段分担率は12.2%であり、最も高い水準。 駅端末における自転車の交通手段分担率では、みどりの駅、研究学園駅で25%を超える。 自転車利用の移動目的は、市内、市外移動ともに「通学」が最も高い（市内移動:21.3%、市外移動:38.2%）。 市民の自転車所有状況は、「所有」が54.4%、「所有していない」が45.6%。 最も多い所有車種は、シティサイクル（電動アシストなし）
交通特性 (安全関連)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の自転車事故発生件数（10万人当たり県内ワースト7位）は減少傾向。全事故件数あたりの自転車事故の割合は増加傾向にある。 当事者種別では「対自動車」（96.7%）、発生場所では「単路」（38.0%）、時間帯では「日中」がそれぞれ最も多い（57.6%）。 車道通行時、「自転車通行空間の狭さ」、「雑草や街路樹の車道へのはみだし」、「自転車通行空間がないこと」について、不安・走りにくいと感じている。 自転車の交通ルールは概ね認知されているものの、「自転車の車道通行原則」を守っている市民は41.7%。 「並進の禁止」について、中学生の63.1%が遵守、33.1%が遵守していない。 ヘルメット着用努力義務について、市民の32.4%、中学生の78.8%が遵守。 自転車に対し、歩行者は「一時停止せずに飛び出し」や「携帯電話のながら運転」について、ドライバーは「急な飛び出し」や「左側通行していないこと」について不満を感じている。 自転車利用に関する交通安全講習の受講経験がない市民が61.1%。

3. 現状のまとめ (2 / 2)

課題やニーズ：太字・下線
 市民・市外来訪者への調査結果：青字

項目	現状
駐輪、 放置自転車	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐輪場の利用状況は、コロナ禍の影響で令和2年に大きく減少。研究学園駅では令和元年の水準まで戻っていない。 放置自転車は令和3年以降全体としては減少傾向にあるものの、令和5年はつくば駅周辺で放置自転車が增加している。 駐輪場の利用目的は、「買い物・食事」が最も多い。 駐輪環境で改善してほしい点として、「駐輪台数の少なさ」、「1台分のスペースの狭さ」が多い。
施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設、学校教育施設、公園・スポーツ施設、観光施設等、自転車利用が想定される施設は市内に広く点在。 自転車関連施設はつくば駅周辺と、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿いを中心に立地。「サイクルパークつくば」が令和5年に開所。
レンタサイクル・シェアサイクル	<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクルは、市内3箇所（市中心部1箇所、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿い2箇所）で実施。 シェアサイクルは、「つくチャリ」が令和3年10月に開始、つくば駅、研究学園駅周辺に23ポート整備。 「つくチャリ」の利用状況は、令和4年度から令和5年度にかけては横ばいの状況。 つくチャリの「利用経験がない」のは、市民97.6%、中学生94.4%。利用した市民の47.8%は満足、30.4%は不満。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込客数は令和元年までは増加傾向だったが、コロナ禍の影響で大きく減少。令和3年時点では令和元年の水準に戻っていない。 観光の振興に関する市民の満足度は、「不満・どちらかといえば不満」が50%、つくば市の魅力を市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思う市民の割合は57.0%。 ナショナルサイクルルートの「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の利用者数は、令和4年で約12.5万人であり、平成28年と比べて2.6倍増。 観光目的で自転車利用する際にあるとよい整備・サービスとして、「安全・快適な通行環境」、「充実した案内サイン」、「レンタサイクルやシェアサイクルのサービス充実」が上位。 楽しみにすること・期待することとして、「サイクリングを通じた豊かな自然体験」、「歴史・文化的な名所旧跡巡り」、「地元のおいしいものを食べること」が上位。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年2月、「つくば市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組むことを宣言。 現状のCO2削減ペースでは、2030年に46%削減、2050年にカーボンニュートラルの達成は難しい状況にある。 温室効果ガスは人口1人当たりの排出量は国や県と比較して高くないものの、市では業務部門、運輸部門で排出量・割合が高い。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 小学生から成人まで市民の運動習慣の割合が低下（特に、成人は平成27年調査と比べて20ポイント以上減少）。 市民のうち、運動不足に関して「かなり感じる」、「ある程度感じる」と回答した人は8割超。

4. つくば市の自転車を取り巻く課題

- 現状を踏まえ、つくば市における自転車を取り巻く課題として、それぞれ「環境」、「健康」、「観光（賑わい）」、「安全」に関して以下のとおり整理。

① 環境に関する課題

まとめ

高いクルマ依存の状態にあり、慢性的な交通渋滞への対策が必要。（市の自動車分担率は約6割で最も高い。市内主要渋滞箇所は30箇所等）

対策の方向性

カーボンニュートラルの達成に向けて、日常・非日常の移動において環境に優しい交通手段の活用を促す等、**環境負荷低減につながる自転車活用を推進することが必要。**

② 健康に関する課題

まとめ

小学生から成人まで市民の運動習慣の割合が低下。特に、息が弾む程度の運動を週2回以上している成人は、男女とも20ポイント以上減少。

対策の方向性

市民の健康寿命や生活の質（QoL）等の向上に向けて、生活の中で運動普及等を推進するために、**市民の健康・快活につながる自転車活用を推進することが必要。**

③ 観光（賑わい）に関する課題

まとめ

観光入込客数は令和元年までは増加傾向だったが、コロナ禍で減少。令和3年時点では令和元年の水準に戻っていない。

対策の方向性

地域の賑わい創出や持続可能な観光地域づくりに向けて、市の特色である科学や文化、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめとした地域資源を活用しながら、イベントやコンテンツづくり等の**地域の魅力向上・賑わい創出につながる自転車活用を推進することが必要。**

④ 安全に関する課題

まとめ

市内の自転車関連事故（人口10万あたり）は県内ワースト7位。市民への調査においても、「自転車通行空間や歩道の整備」、「自転車利用者のルール・マナー」が改善要望の上位となっている。

対策の方向性

自転車を誰でも安心・安全に楽しく利用できる環境の形成に向けて、**安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用を推進することが必要。**

施策及び措置について

じてんしゃのまち
つくば市
Bikeable City Tsukuba



計画で目指す将来像と計画目標

(1) 計画で目指す将来像

- 上位関連計画等を踏まえ、本計画では、自転車を活用したまちづくりの将来像を、以下のように設定する。

つくば市
未来構想

まちづくりの理念

つながりを力に 未来をつくる

自転車活用の側面から、

市のまちづくり全体の理念の実現へ寄与

つくば市
自転車活用推進計画

本計画の
目的

持続可能なまち

環境負荷
低減

市民の
健康・快活

地域の
魅力向上
賑わい創出

本計画で目指す
将来像(案)

Pedaling Our Green Tomorrow
グリーンなあしたへ漕ぎ出そう

施策の4つ
のスコープ

コミュニティ

サステナブル

ウェルネス

セーフティ

計画で目指す将来像と計画目標

(2) 計画目標および施策の方向性

- 国や県の自転車活用推進計画を踏まえつつ、施策の4つのスコープに沿った、具体的な施策の方向性を以下に示す。

<つくば市未来構想>

I 魅力をみんなで創るまち
(コミュニティ、魅力・賑わい など)

II 誰もが自分らしく生きるまち
(健康・快活、安全・安心、
バリアフリー・シームレス(共通)など)

III 未来をつくる人が育つまち
(育み、多様性(共通) など)

IV 市民のために科学技術を
いかすまち
(新技術(共通)、持続可能性 など)

施策の4つのスコープ

サステナブル

ウェルネス

コミュニティ

セーフティ

<プロジェクト(計画目標)の方向性>

環境負荷低減につながる自転車活用の推進

【要素例】：
環境(渋滞緩和等)、他目標と共通 等

市民の健康・快活につながる自転車活用の推進

【要素例】：
健康、労働(通勤)、公共交通、駐輪環境、
スポーツ・レク 等

地域の魅力向上・賑わい創出につながる自転車活用の推進

【要素例】：
自転車観光、レンタサイクル、シェアサイクル、公共交通、
駐輪環境、NCR、広域連携、イベント促進 等

安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進

【要素例】：
通行空間、自転車安全教育、保険、防災 等

施策及び措置一覧（案）

- 4つのスコープから、つくば市自転車安全利用促進計画 アクションプランの施策を見直した上で、国及び茨城県の自転車活用推進計画の改定内容に照らし、市として実施すべき施策及び措置の案を以下に示す。

スコープ	計画目標の方向性	No	施策（案）	No	市計画における措置（案）
サステナブル	環境負荷低減につながる自転車活用の推進	1	環境負荷低減につながる自転車活用推進に向けた広報啓発	1-1	自転車利用促進に向けた総合的な情報発信
		2	自転車のアップサイクル推進	1-2	自転車通勤や業務利用に向けた啓発活動
ウェルネス	市民の健康・快活につながる自転車活用の推進	1	誰もが手軽に自転車を利用できる環境づくりの推進	2-1	資源循環に寄与する放置自転車のアップサイクル推進
		2	自転車の楽しさを通じた日常生活や余暇における自転車利用のきっかけづくり	-	スコープ2～4の取組は共通（環境負荷低減に寄与）
コミュニティ	地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進	1	市民や来訪者が楽しめるサイクルツーリズムの環境づくり	1-1	シェアサイクルの利用促進
		2	市民や来訪者が自転車を楽しめる仕掛けづくり	1-2	駐輪場の環境整備
		3	サイクルツーリズムの情報発信・PR	2-1	サイクルイベント等の実施
セーフティ	安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進	1	自転車通行空間の計画的な整備推進	2-2	自転車を活用した健康づくりの促進
		2	自転車安全利用の促進	1-1	レンタサイクルの利用促進
				1-2	サイクリストフレンドリーな環境づくり
				1-3	つくば霞ヶ浦りんりんロード等におけるツアーの推進
		3	安全性の高い自転車の普及	2-2	サイクルパークつくばを活用した地域の活性化
				2-3	四季折々の体験と連携したサイクリングルートの構築・発信
2-4	つくば市通学路交通安全プログラム及び交通事故発生マップ等の活用				
2-1	ライフステージや利用者層に応じた交通安全教育の充実				
2-2	交通ルール遵守・マナー向上に関する周知啓発の推進				
2-3	自転車ヘルメット着用の促進				
2-4	自転車損害賠償保険等の加入促進				
3-1	安全性の高い製品購入の促進				
3-2	自転車の点検整備を促進するための広報啓発				

スコープ 1 サステナブル ～環境負荷低減につながる自転車活用の推進～

施策 1 環境負荷低減につながる自転車活用推進に向けた広報啓発

措置	1-1 自転車利用促進に向けた総合的な情報発信
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 市公式ホームページ「ツクバサイクル」による総合的な情報発信<ul style="list-style-type: none">✓ 「ツクバサイクル」において、自転車活用に関する情報を発信することで、環境負荷低減につながる自転車利用を促します。● 自転車関連情報（ルート情報等）のオープンデータ化<ul style="list-style-type: none">✓ ルート情報や駐輪場の位置等に関する各種データをオープンデータとして公開し、自転車関連データの利活用を推進します。● 気候市民会議ロードマップの推進<ul style="list-style-type: none">✓ ゼロカーボン移動への転換に応じて、アプリ等へのポイントが付与される仕組みを構築するなど、気候市民会議で提言された取組みについて推進します。



▲ 「ツクバサイクル」ウェブサイト

スコープ 1 サステナブル ～環境負荷低減につながる自転車活用の推進～

施策 1 環境負荷低減につながる自転車活用推進に向けた広報啓発

措置	1-2 自転車通勤や業務利用に向けた啓発活動
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自転車通勤推進企業宣言プロジェクトの認定に向けた市内企業・団体への支援<ul style="list-style-type: none">✓ 国が進める「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」の認定に向け、事業所等に情報提供をするなどの支援を行います。

自転車通勤導入に関する手引き



令和元年5月
自転車活用推進官民連携協議会

▲自転車通勤導入に関する手引き

出典：国土交通省

自転車通勤宣言プロジェクトとは

自転車通勤を導入する企業・団体を自転車活用推進本部長（国土交通大臣）が認定し、自転車通勤の取組を広く発信（事業所単位で申請可）

優良企業認定ロゴマーク



宣言企業認定ロゴマーク



自転車通勤者が、100名以上又は全従業員の2割以上を占め、先進的な取組を行う宣言企業から、独自の積極的な取組や地域性を総合的に勘案し、特に優れた企業・団体を認定

以下の3項目全てを満たす企業・団体

- [1] 従業員用駐輪場を確保
- [2] 交通安全教育を年1回実施
- [3] 自転車損害賠償責任保険等への加入を義務化

▲自転車通勤宣言プロジェクトの概要

出典：国土交通省ウェブサイトより作成

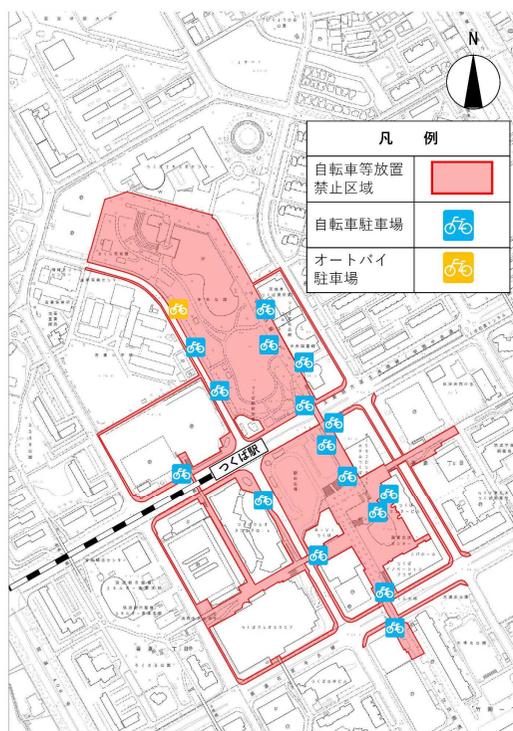
スコープ 1 サステナブル ～環境負荷低減につながる自転車活用の推進～

施策 2 自転車のアップサイクル推進

措置 2-1 資源循環に寄与する放置自転車のアップサイクル推進

実施内容

- 放置禁止区域における放置自転車の撤去、保管
 - ✓ つくば市自転車等放置防止条例に基づき、道路、公園、駅前広場など公共の場所で放置されている自転車に対する指導・警告及び撤去を行います。
- 市内指定自転車店におけるリサイクル自転車の販売
 - ✓ 放置自転車を有効活用するため、協定を締結している茨城県自転車二輪自動車商協同組合及び公益社団法人つくば市シルバー人材センターに譲渡し、整備の上、指定の店舗にて販売を行います。



▲自転車等放置禁止区域（つくば市駅周辺）



▲放置自転車の保管場所

スコープ 2 ウェルネス ～市民の健康・快活につながる自転車活用の推進～

施策 1 誰もが手軽に自転車を利用できる環境づくりの推進

措置	1-1 シェアサイクルの利用促進
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> つくチャリの運営及びポートの拡充 <ul style="list-style-type: none"> シェアサイクル「つくチャリ」を運営し、より多くの方に利用されるよう周知広報を行うほか、利用者の声を勘案し、ポートを拡充していきます。



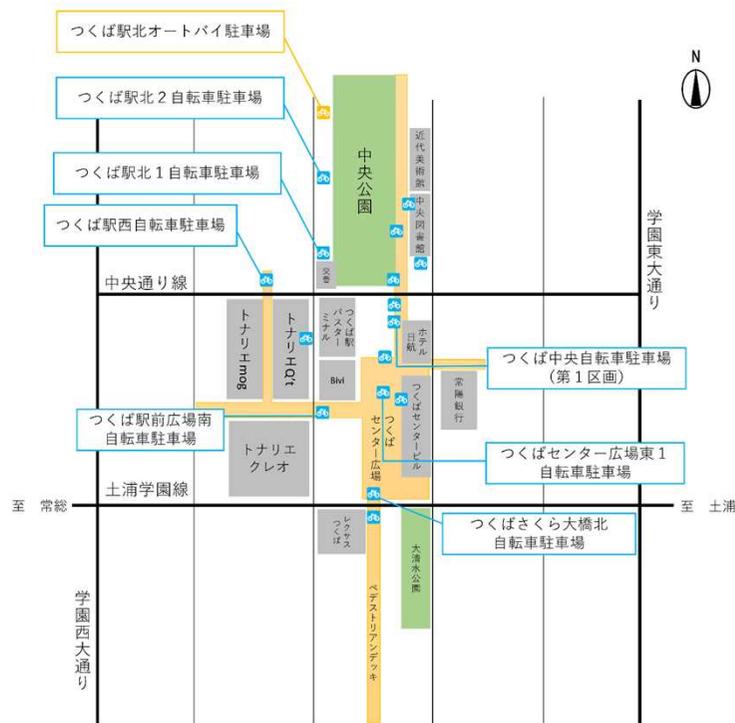
▲シェアサイクル「つくチャリ」

出典：つくば市「つくば市シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」」

スコープ 2 ウェルネス ～市民の健康・快活につながる自転車活用の推進～

施策 1 誰もが手軽に自転車を利用できる環境づくりの推進

措置	1-2 駐輪場の環境整備
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● つくばエクスプレス各駅周辺の駐輪場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車と鉄道の接続や駅周辺の商業施設等へのアクセス性向上のため、駐輪場を整備します。 ● 交通の結節点となる拠点への駐輪場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ✓ サイクル&バスライドを実現するため、交通の結節点となる拠点に駐輪場を整備します。



▲TX駅周辺の自転車駐車場（定期利用）



▲サイクル&バスライド駐輪場（つくば市役所）

出典：つくば市ウェブサイト

スコープ 2 ウェルネス ～市民の健康・快活につながる自転車活用の推進～

施策 2 自転車の楽しさを通じた日常生活や余暇における自転車利用のきっかけづくり

措置	2-1 サイクルイベント等の実施
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● サイクルコミュニティイベント「PEDAL DAY GO Mt. TSUKUBA -ペダルでいご～筑波山-」の開催<ul style="list-style-type: none">✓ 初心者から自転車愛好家まで広く楽しめるイベントである「PEDAL DAY GO Mt. TSUKUBA -ペダルでいご～筑波山-」を継続して開催し、自転車を乗る楽しみを発信します。



▲弱虫ペダルサイクリングチームとコラボしたイベントの開催（2023年11月）

出典：つくば市ウェブサイト

スコープ 2 ウェルネス ～市民の健康・快活につながる自転車活用の推進～

施策 2 自転車の楽しさを通じた日常生活や余暇における自転車利用のきっかけづくり

措置	2-2 自転車を活用した健康づくりの促進
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自転車通勤に関する広報啓発<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車通勤による健康効果の情報など、各種情報を発信することで、自転車通勤を推奨するとともに、健康づくりを促進します。● 高齢者電動アシスト自転車等購入費補助<ul style="list-style-type: none">✓ 高齢者の自動車に代わる移動手段の確保、社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防を推進することを目的として、電動アシスト自転車購入の補助をします。



▲高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業

スコープ 3 コミュニティ ～地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進～

施策 1 市民や来訪者が楽しめるサイクルツーリズムの環境づくり

措置	1-1 レンタサイクルの利用促進
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● ニーズに応じたレンタサイクルの見直し<ul style="list-style-type: none">✓ レンタサイクル事業を運営するとともに、貸出場所の追加やE-BIKEや電動自転車の導入など、利用者のニーズに応じたレンタサイクルの見直しを行います。



▲レンタサイクル（筑波山口レンタサイクル）



▲レンタルE-BIKE

スコープ 3 コミュニティ ～地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進～

施策 1 市民や来訪者が楽しめるサイクルツーリズムの環境づくり

措置	1-2 サイクリストフレンドリーな環境づくり
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 来訪者の受入環境の整備<ul style="list-style-type: none">✓ サイクルツーリズムを推進するため、休憩施設や自転車点検スペースの整備、パーク&ライドに供する駐車場の整備等、来訪者を受入れる環境づくりを行います。● 茨城県やつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会と連携したサポート体制の充実<ul style="list-style-type: none">✓ 県や協議会の事業と連携し、サイクルサポートステーションや、サイクリストに優しい宿などの情報を発信するほか、サイクルレスキュー制度の紹介をするなど、サイクリストに対するサポート体制を充実させます。



▲自転車組立スペース（左）とコインロッカー（右）
（BIVIつくば内）

▲筑波休憩所

スコープ 3 コミュニティ ～地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進～

施策 2 市民や来訪者が自転車を楽しめる仕掛けづくり

措置	2-1 つくば霞ヶ浦りんりんロード等におけるツアーの推進
実施内容	<ul style="list-style-type: none">サイクリングイベントでのツアー実施<ul style="list-style-type: none">✓ サイクルパークつくばを核として、PEDAL DAY GOにおけるツアーやジオサイクルツアーなど、地域資源を生かしたツアーを実施します。



▲つくば霞ヶ浦りんりんロード



▲渡辺航先生とのファンサイクリング (つくば霞ヶ浦りんりんロード)

出典：PEDAL DAY GO Mt. TSUKUBA ウェブサイト

スコープ 3 コミュニティ ～地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進～

施策 2 市民や来訪者が自転車を楽しめる仕掛けづくり

措置	2-2 サイクルパークつくばを活用した地域の活性化
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● サイクルパークつくばの運営<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車拠点であるサイクルパークつくばを運営し、多様なサイクリストを呼び込むとともに、BMXレーシング等の自転車競技大会を誘致することで、地域の活性化につなげます。● 周辺地域の情報や市内自転車関連団体の活動（市民向け）に関する情報発信<ul style="list-style-type: none">✓ サイクルパークつくばにおいて、周辺地域や関連団体の情報を発信することで、サイクルパークつくばを拠点とした回遊を促し、地域振興を図ります。



サイクルパークつくば
CYCLE PARK TSUKUBA



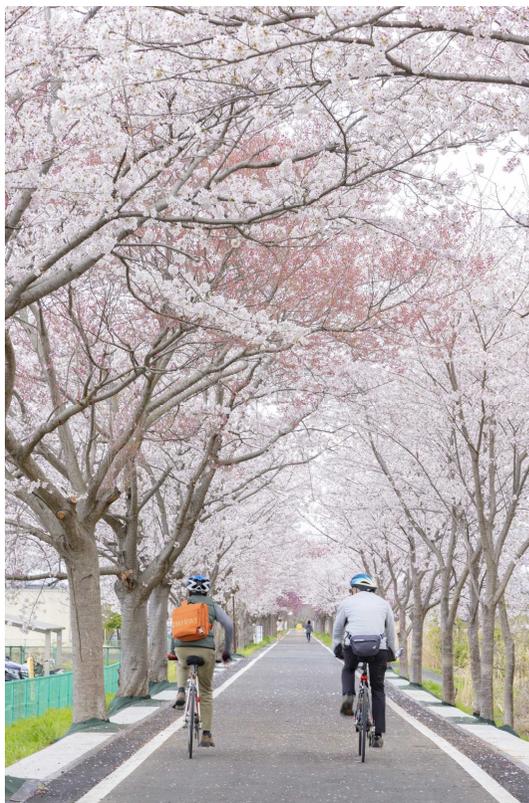
▲サイクルパークつくば

出典：つくば市 ツクバサイクルポータルサイト「サイクルパークつくば」

スコープ 3 コミュニティ ～地域の魅力向上・にぎわい創出につながる自転車活用の推進～

施策 3 サイクルツーリズムの情報発信・PR

措置	3-1 四季折々の体験と連携したサイクリングルートの構築・発信
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自転車で巡るつくば市周遊モデルコースの構築、発信<ul style="list-style-type: none">✓ 季節に応じた楽しみ方や目的地を周遊する自転車ツアーのコースを構築し、SNSを中心に情報の発信を行います。



▲りんりんロードでのサイクリングの様子



▲夏の不動峠

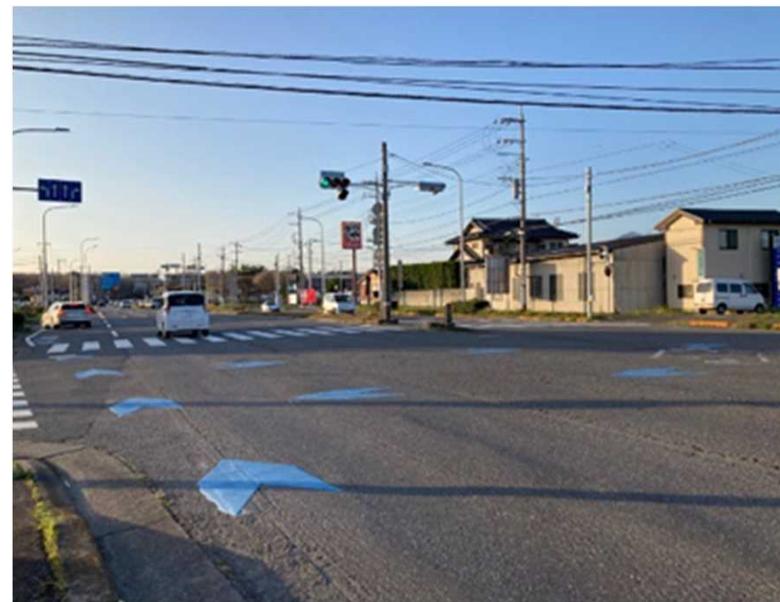
スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策1 自転車通行空間の計画的な整備推進

措置	1-1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備推進
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 計画的な自転車通行空間の整備<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車ネットワーク計画や気候市民会議の提言に基づき、矢羽根や案内標識等の設置といった自転車通行空間整備を実施します。



<自転車専用通行帯>
市道認定道路2021号線



<車道混在>
東大通

▲市内の自転車通行空間の整備状況

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 1 自転車通行空間の計画的な整備推進

措置	1-2 自転車通行空間の維持管理
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自転車通行空間における危険個所の把握、維持管理<ul style="list-style-type: none">✓ 道路パトロールを通じ、自転車通行に際して危険な箇所を把握し、補修を行うなど、適切な維持管理を実施します。● 自転車利用時の利用者の声（ヒヤリハット情報）の把握<ul style="list-style-type: none">✓ 市民より自転車通行に関して危険を感じる箇所の情報を広く収集します。

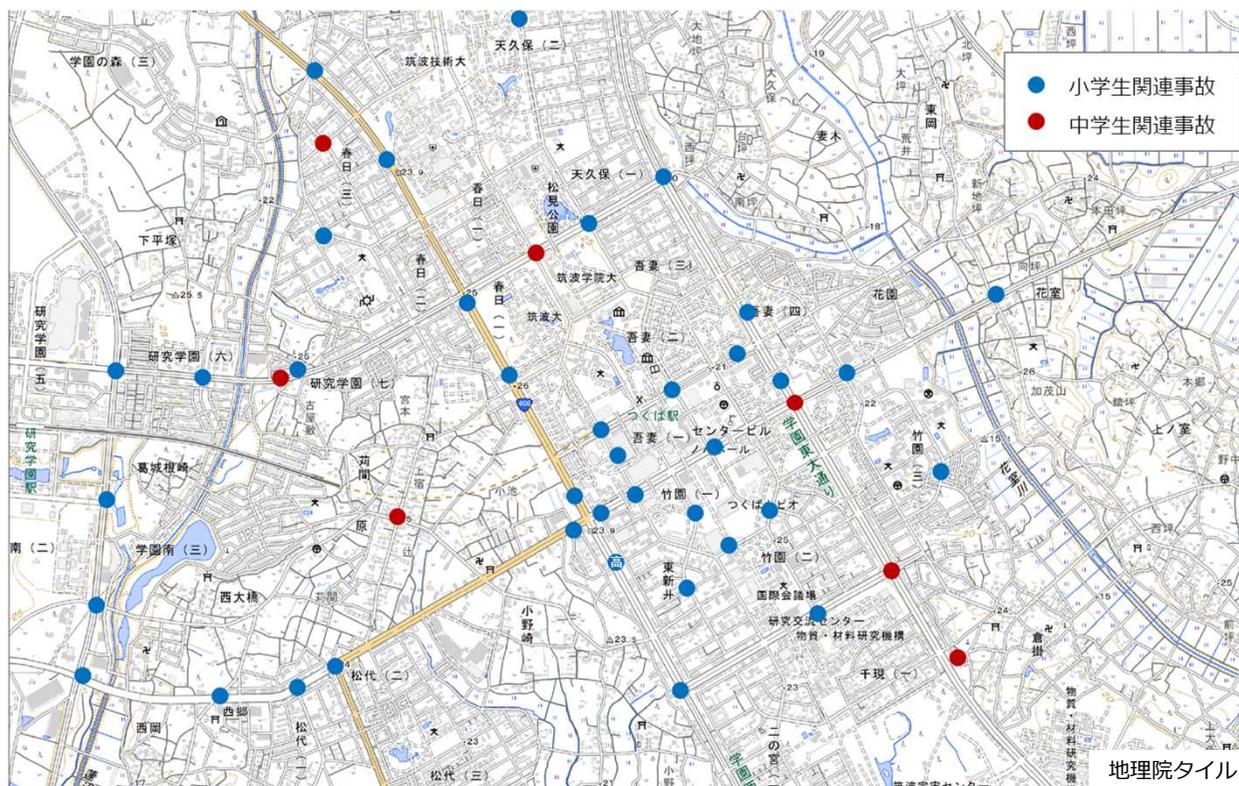


▲道路パトロール車

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 1 自転車通行空間の計画的な整備推進

措置	1-3 つくば市通学路交通安全プログラム及び交通事故発生マップ等の活用
実施内容	<ul style="list-style-type: none">つくば市通学路交通安全プログラム等を活用した危険箇所の把握<ul style="list-style-type: none">通学路での自転車利用において、危険箇所を把握し、マッピング等を行って周知を図るほか、通行空間の改善に活かします。



▲通学路における交通事故発生マップのイメージ

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 2 自転車安全利用の促進

措置	2-1 ライフステージや利用者層に応じた交通安全教育の充実
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 幼児、小中学生、高校生、保護者、高齢者向けの交通安全教室の実施<ul style="list-style-type: none">✓ 年代に応じた交通安全教室を実施し、自転車の安全利用について学ぶ機会を創出します。



▲小学生向け夏休み交通安全教室

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 2 自転車安全利用の促進

措置	2-2 交通ルール遵守・マナー向上に関する周知啓発の推進
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の通行ルールの広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 市の広報紙やチラシの配布を通じ、自転車通行に関するルールやマナーについて広報します。 ● 自動車ドライバーに対する思いやり運転の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 警察や交通安全協会と連携し、自動車ドライバーに対し、車道における自転車と自動車の共存「シェアザロード」の精神を啓発します。 ● 弱虫ペダルラッピングバスによる広報 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 弱虫ペダルサイクリングチームとコラボレーションし、自転車利用や通行のルール・マナーに関するメッセージをラッピングしたバスを運行します。

自転車はクルマの仲間です。
 自転車利用のルールを守って、安全に自転車を運転しましょう!

<p>車道が原則：左側を走りましょう 歩道は例外：歩行者を優先しましょう</p>	<p>一時停止をしましょう (止まれる場所・車列が自由)</p>	<p>信号を守りましょう</p>
<p>夜間はライトをつけましょう</p>	<p>飲酒運転は禁止です</p>	<p>みんなヘルメットをかぶりましょう</p>
<p>駐輪場を利用しましょう</p>	<p>並進・二人乗りは禁止です</p>	<p>携帯電話・イヤホン・ヘッドホン使用は禁止です</p>
<p>速度（危険行為）を繰り返した場合は「自転車運転者講習」の受講が義務付けられます。</p>	<p>並進・二人乗りは禁止です</p>	<p>傘さし運転は禁止です</p>

ごまめに点検整備をしましょう 点検箇所は「**ブタハシヤベル**」と覚えましょう!

① フレーキ → 前後ブレーキ、後輪ブレーキともよく効くか。	⑤ 車体全体 → 全体の破損や変形はないか。
② タイヤ → 適度に空気が入っているか、すり減っていないか。	⑥ 前照灯 → 電球が切れていないか、明るいか。
③ ハンドル → 前の車輪と直角に固定されているか。	⑦ サドル → 適切な高さになりかき固定されているか。
④ 反射材 → 付いているか、後方や側方からよく見えるか。	⑧ チェーン → 緩みすぎでないか。
	⑨ ペダル → 曲がっていないか、滑りやすくなっていないか。
	⑩ ヘルム → よく鳴るか。

日常的な点検整備に加えて、年に1回は自転車店に点検してもらいましょう



▲弱虫ペダルラッピングバス

▲自転車安全五則啓発チラシ

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 2 自転車安全利用の促進

措置	2-3 自転車ヘルメット着用の促進
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自転車用ヘルメット着用の広報啓発<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車利用に際し、ヘルメット着用が努力義務となったことから、広報紙やチラシの配布を通じて広報します。



▲ヘルメット着用啓発のメッセージ



▲ヘルメット着用例

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 2 自転車安全利用の促進

措置	2-4 自転車損害賠償保険等の加入促進
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 市ホームページ等の広報媒体を活用した保険加入の周知 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車の利用によって生じた他人の生命、身体又は財産の損害を賠償することができるよう、自転車損害賠償保険等への加入について、ホームページや交通安全教室を通じて周知広報します。 ● 自転車店等と連携した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車店等と連携し、自転車の販売、組立て及び整備の機会を通じ、自転車損害賠償保険等の情報を提供するように努めます。

自転車保険 入っていますか?

事故を起こしてしまったときに備えて、自転車保険(賠償責任保険)に入きましょう!

茨城県交通安全条例

自転車の利用者は、『自転車の安全な利用』に努めなければなりません。『自転車保険への加入』

自転車事故での高額賠償事例も発生しています!

損害賠償額	損害賠償額	損害賠償額
9,521万円	9,266万円	6,779万円

安全利用で自転車事故防止

自転車は「くるま」の仲間です! 交通ルールを必ず守りましょう。

自転車の点検・整備 自転車に乗る前の点検整備を行いましょう。年に一度は専門家の点検・整備を受けましょう。

ヘルメットの着用 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

茨城県

傷害補償○入院15日以上 一律1万円
○死亡、重度後遺障害(1~4級) 一律30万円

賠償補償○死亡、重度後遺障害(1~7級) 限度額1,000万円

「TSマーク」の有効期限は、TSマークに記載されている点検整備の日から1年間です。毎年の更新をお忘れなく。

▲青色TSマーク (第一種点検整備済TSマーク)

■平成29年10月1日以降に貼付した赤色TSマークの補償内容

傷害補償○入院15日以上 一律10万円
○死亡、重度後遺障害(1~4級) 一律100万円

賠償補償○死亡、重度後遺障害(1~7級) 限度額1億円

被害者見舞金○入院15日以上 一律10万円

■平成29年9月30日までに貼付した赤色TSマークの補償内容

傷害補償○入院15日以上 一律10万円
○死亡、重度後遺障害(1~4級) 一律100万円

賠償補償○死亡、重度後遺障害(1~7級) 限度額5000万円

▲赤色TSマーク (第二種点検整備済TSマーク)

◀茨城県交通安全条例改正ポスター (茨城県)

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策3 安全性の高い自転車の普及

措置	3-1 安全性の高い製品購入の促進
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none">● 幼児2人同乗用自転車購入補助<ul style="list-style-type: none">✓ 小学校入学前の児童を監護する世帯に対し、安全に配慮された自転車の普及を促進し、外出時の児童の安全性を確保することを目的として、購入補助を行います。● 自転車用ヘルメット購入補助<ul style="list-style-type: none">✓ 市民の交通事故の被害を軽減する自転車用ヘルメットの利用の促進を図り、自転車の安全利用の促進に資することを目的として、補助を行います。● 安全性を高める製品の広報啓発<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車利用に際し、安全性の高い自転車を車体を選ぶほか、安全性の高い製品を利用するよう広報します。



▲幼児2人用自転車



▲安全マークの付いたヘルメット

スコープ4 セーフティ ～安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進～

施策 3 安全性の高い自転車の普及

措置	3-2 自転車の点検整備を促進するための広報啓発
実施内容	<ul style="list-style-type: none">● 自分でできる点検方法およびTSマークに関する情報発信<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車の点検整備の重要性を広報するとともに、自身でできる点検や自転車整備士等による整備の必要性について、ホームページや交通安全教室を通じて周知広報します。● 自転車店と連携した点検整備や防犯登録の必要性の発信<ul style="list-style-type: none">✓ 自転車店と連携し、自転車の販売、組立て及び整備の機会を通じ、点検整備の必要性、日常点検の方法その他の自転車を安全で適正に利用するために必要な情報の提供を図るよう働きかけます。

自転車の「点検・整備」をしましょう

交通事故の危険を避けるためには、使用する自転車がきちんと整備されていることが大切です。

- 点検をする部分は「ブタハシャベル」と覚えよう！



1. ブレーキ 前輪ブレーキ、後輪ブレーキともよくきくか。
2. タイヤ 適度に空気が入っているか。すり減っていないか。
3. ハンドル 前の車輪と直角に固定されているか。
4. 反射器材 付いているか。後方や側方からよく見えるか。
5. 車体全体 全体の破損や変形がないか。
6. 前照灯 電球が切れていないか。明るいか。
7. サドル 適切な高さにしっかりと固定されているか。
8. チェーン 緩みすぎていないか。
9. ペダル 曲がっていないか。滑りやすくなっていないか。
10. ベル よく鳴るか。

交通事故を防ぐために、自転車の点検整備をしましょう。

▲自転車の「点検・整備」

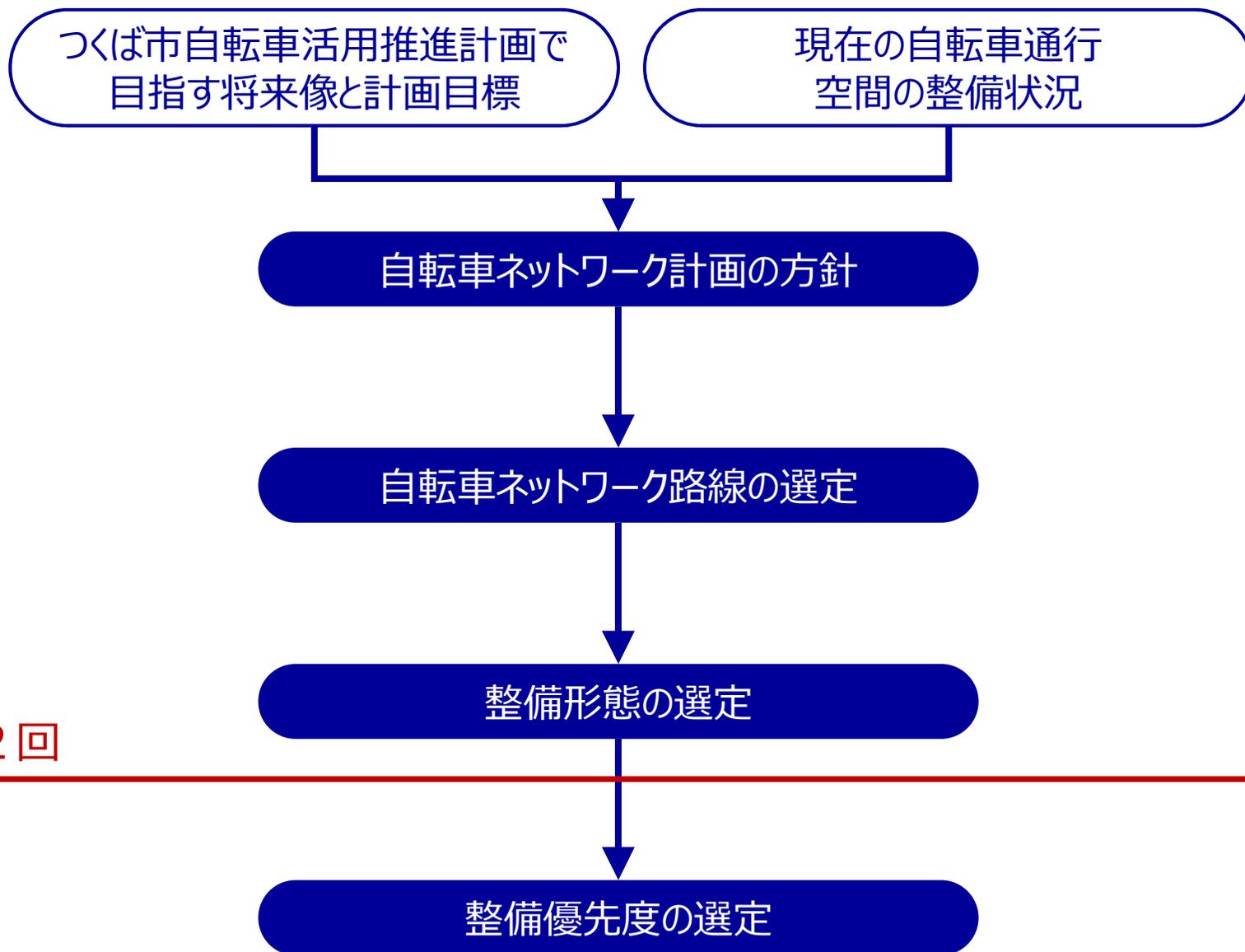
自転車ネットワークの検討 について

じてんしゃのまち
つくば市
Bikeable City Tsukuba



1. 自転車ネットワーク検討の進め方について

- 以下の手順にて、自転車ネットワークを検討を進める。

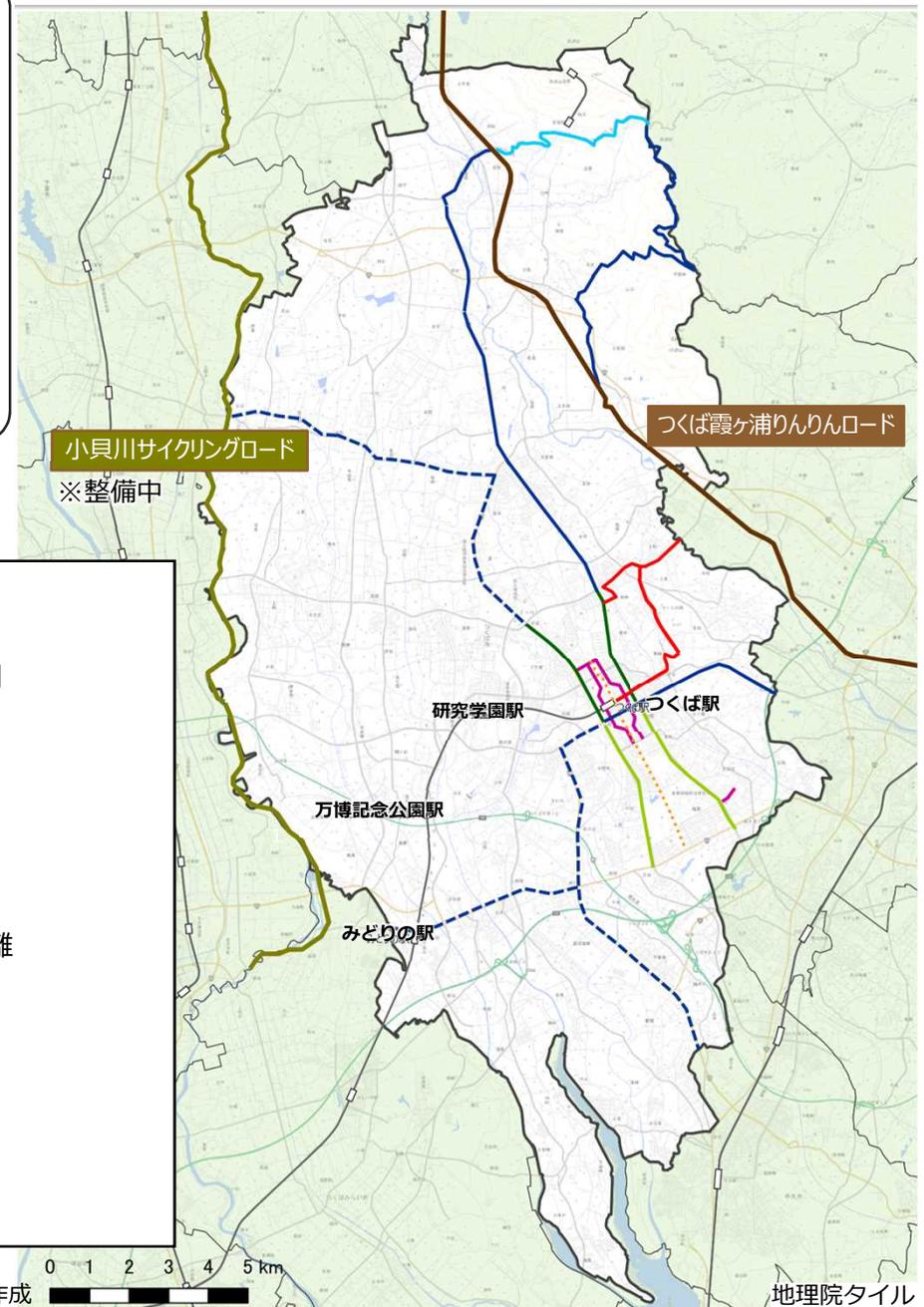


第2回

2. 自転車通行空間の整備状況

- つくば駅周辺の市道で自転車専用通行帯、国道408号や県道55号等において車道混在の自転車通行空間が整備されている。
- また、サイクリングロードとして、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が整備されており、「小貝川サイクリングロード」については、現在整備を進めている。

〈市内の自転車通行空間の整備状況〉



3. 自転車ネットワーク・路線選定の方針について

(1) 選定方針

- 4つのスコープごとに路線選定、施設位置やGPSデータ等を活用し、ネットワーク路線を選定するエリアを選定後、そのエリアを中心に路線を選定する。

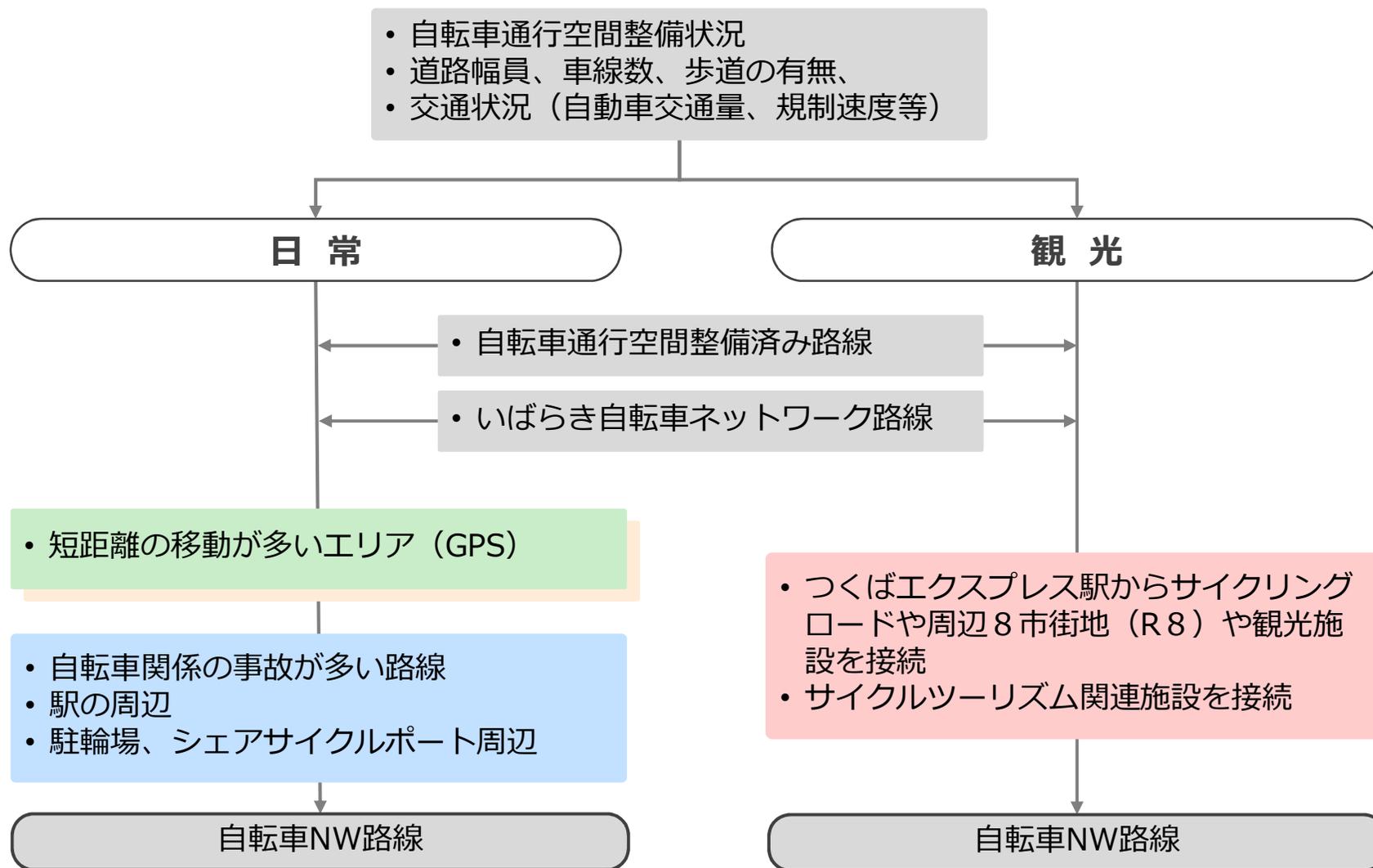
施策の4つのスコープ

	対策の方向性	NWで対応する移動	路線選定の方針	活用データ
Project サステナブル	<ul style="list-style-type: none">● 環境負荷低減につながる自転車活用を推進	<ul style="list-style-type: none">● 自家用車から自転車への転換を推進	<ul style="list-style-type: none">● 短距離の移動が多いエリア	PTデータ GPS移動履歴データ
Project ウェルネス	<ul style="list-style-type: none">● 市民の健康・快活につながる自転車活用を推進	<ul style="list-style-type: none">● 日常の短距離の移動を自転車に転換	<ul style="list-style-type: none">● 短距離の移動が多いエリア	PTデータ GPS移動履歴データ
Project コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">● 地域の魅力向上・賑わい創出につながる自転車活用を推進	<ul style="list-style-type: none">● サイクルツーリズムを促進● 地域の自転車での周遊を促進	<ul style="list-style-type: none">● つくばエクスプレスから周辺8市街地（R8）や観光施設を接続● サイクルツーリズム関連施設を接続	周辺8市街地（R8） サイクルツーリズム関連施設 交通結節点 既存のサイクリングルート
Project セーフティ	<ul style="list-style-type: none">● 安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用を推進	<ul style="list-style-type: none">● 自動車・歩行者との分離により、自転車事故を削減	<ul style="list-style-type: none">● 自転車関係の事故が多い路線● 学校・駅の周辺	事故データ 鉄道駅位置 駐輪場位置 シェアサイクルポート

3. 自転車ネットワーク・路線選定の方針について

(3) 日常利用・観光利用の自転車ネットワークの設定

- 自転車ネットワークについては、日常利用を想定した自転車ネットワーク、観光利用を想定した自転車ネットワークの両方を作成する。



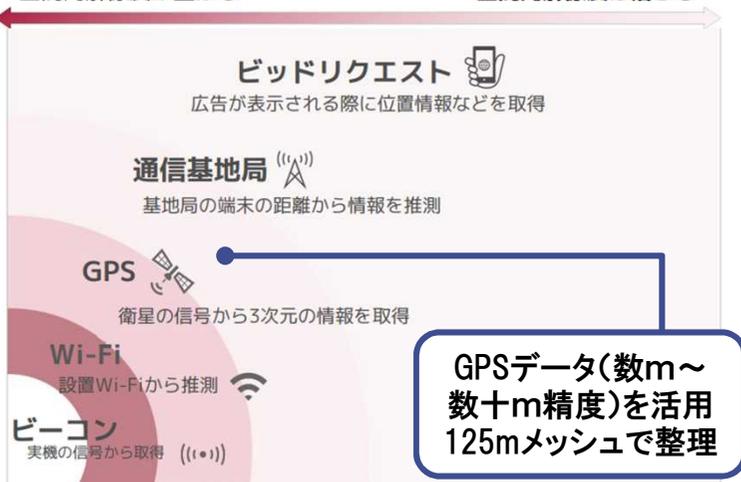
4. 日常利用の自転車ネットワークの選定

(1) 短距離の移動が多いエリア

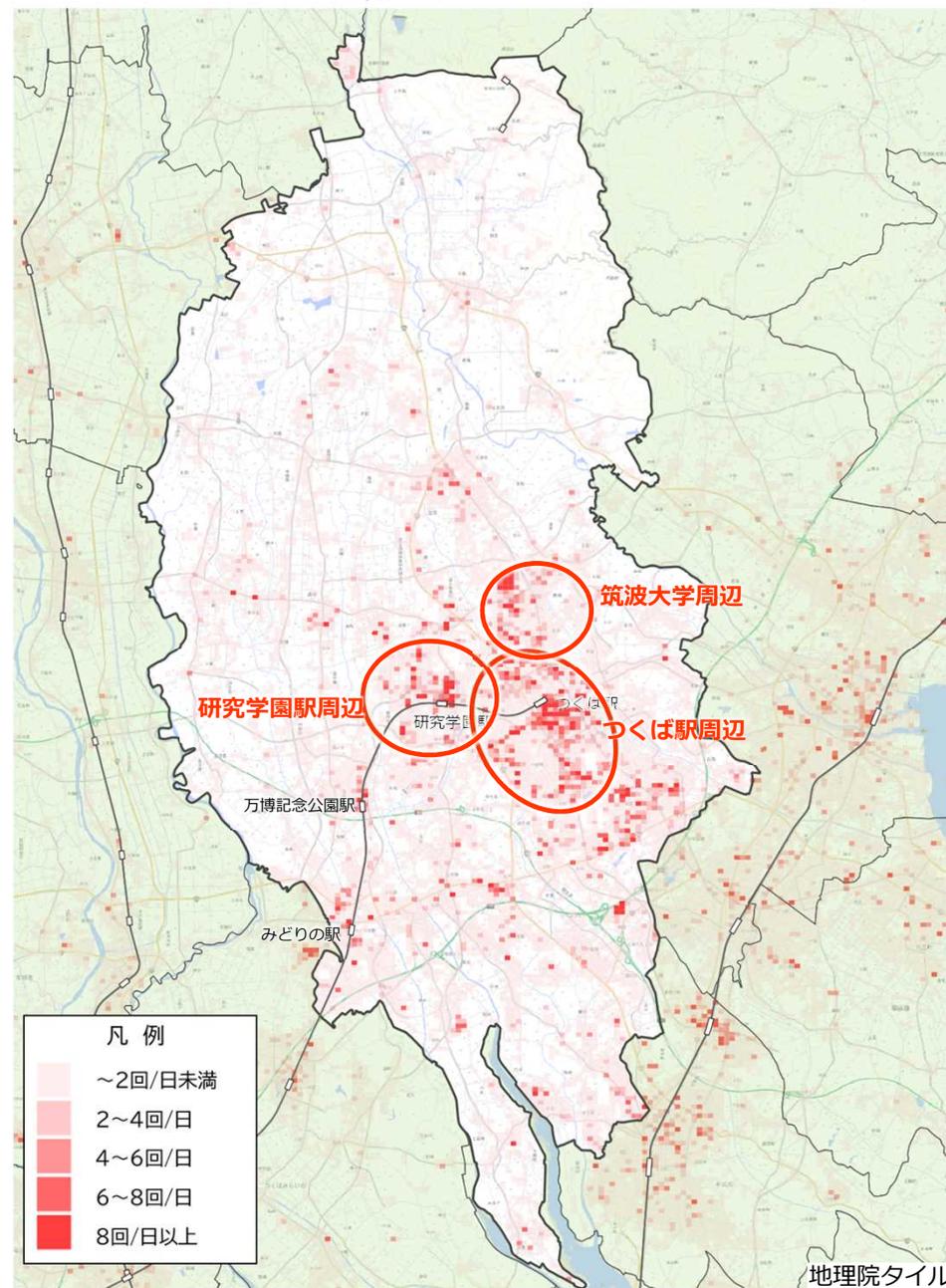
- 短距離(1km以上5km以内)の移動が多いエリアを携帯電話のGPS移動履歴をもとに抽出した。
 - つくばエクスプレス駅周辺、筑波大学周辺にて短距離の移動が多くなっている。
- スマートフォンのアプリ使用者のGPSデータ移動履歴を取得
(取得は利用者が承諾したタイミングのみ取得)
※特定アプリ使用中のみ取得許可などの承諾となっているため、すべての移動履歴を取得しているわけではないことに留意が必要
 - 取得時期：R5年10月(1ヶ月間)
 - 抽出した移動：5km以内の移動(15分以上同じ場所にいた場合を滞在と判断)

<狭域>
データ量は減るが、
空間的解像度が上がる

<広域>
データ量は増えるが
空間的解像度は落ちる



<1~5 kmの短距離の移動の出発地・目的地の分布>



4. 日常利用の自転車ネットワークの選定

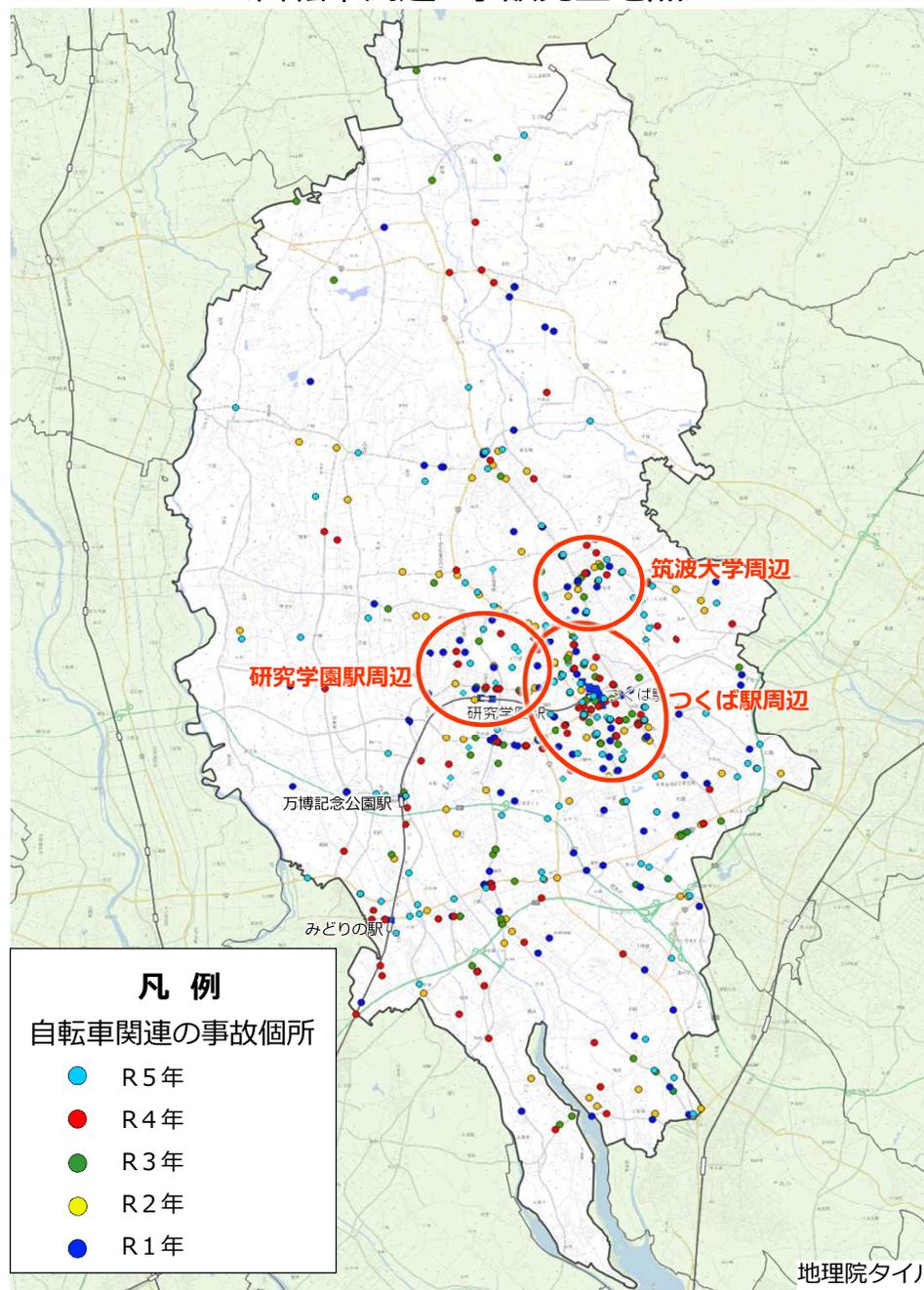
(2) 自転車関連の事故発生地点

- 警察庁オープンデータをもとに、令和元年から令和5年までの自転車関連の事故の発生個所をプロットした。
- 自転車関連の事故は、つくば駅、研究学園駅、筑波大学周辺で多い傾向にある。

＜自転車関連の事故発生件数＞

	第1 当事者	第2 当事者	計
令和元年	5	101	106
令和2年	6	94	100
令和3年	8	104	112
令和4年	2	91	93
令和5年	4	103	107

＜自転車関連の事故発生地点＞



4. 日常利用の自転車ネットワークの選定

(3) 駐輪場・シェアサイクルポート位置

〈駐輪場・シェアサイクルポート位置〉

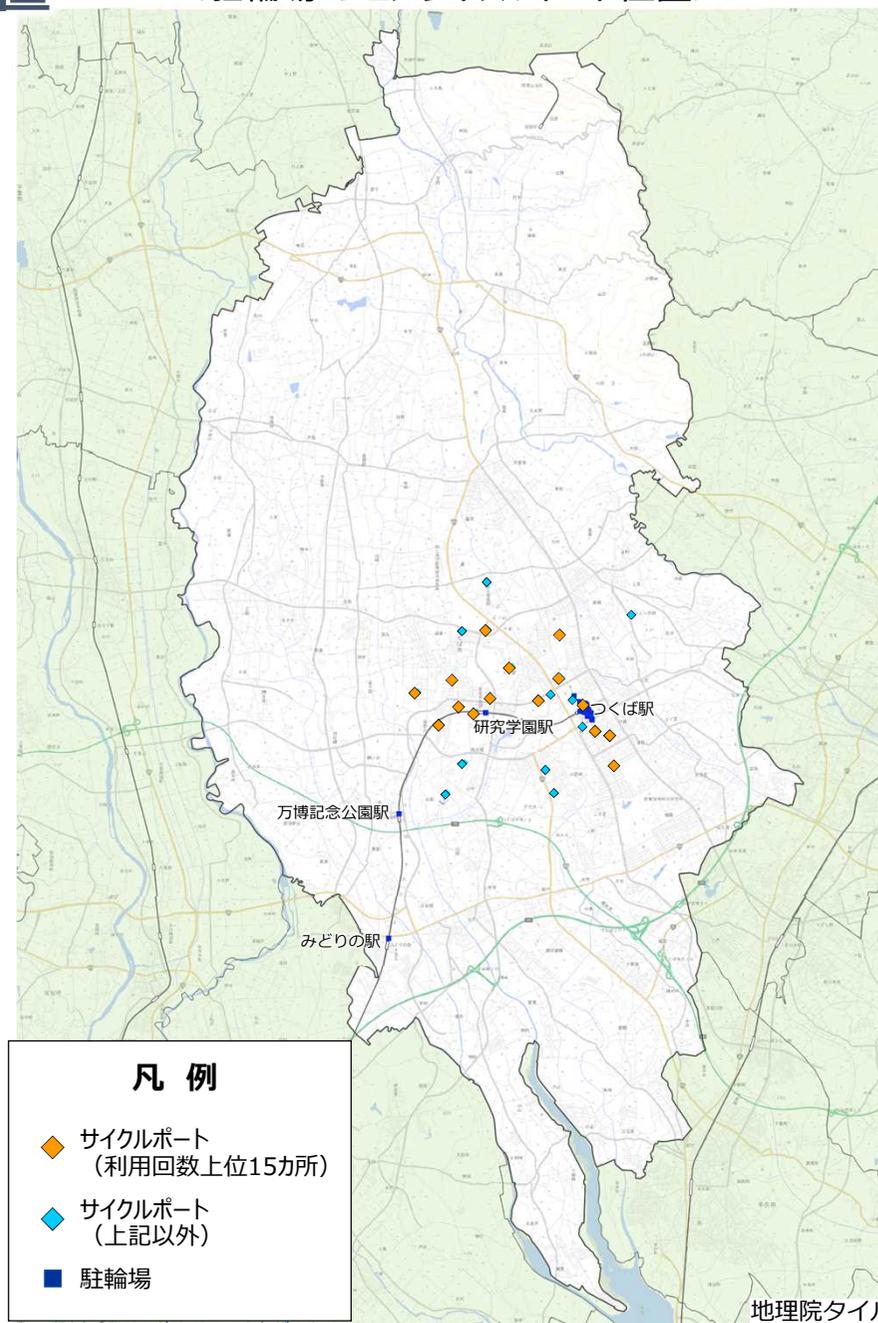
- 駐輪場はつくばエクスプレス各駅に整備されているほか、シェアサイクルポートはつくば駅、研究学園駅周辺に整備されている。
- これらがを接続するような自転車ネットワークが必要になる。

〈利用回数が上位15ステーションと貸出・返却数〉

	ステーション名	貸出	返却
1	つくば駅（中央公園）	425	409
2	研究学園駅	309	291
3	カスミ筑波大学店	137	143
4	つくばリードタウン	117	121
5	東光台東交差点（BLANDE研究学園店）	99	107
6	イーアスつくば	93	90
7	二の宮公園	79	80
8	ファミリーマートつくば葛城店	62	66
9	ZOZOBASEつくば1	65	61
10	デイズタウン	44	44
11	MeeToco 筑波ハム	36	39
12	コーチャンフォーつくば	34	33
13	カスミフードスクエア学園の森店	31	35
14	カスミフードスクエア学園店	31	32
15	つくば市役所	32	27

台/月

貸出・返却数はR3年10月～R6年2月の平均



凡例

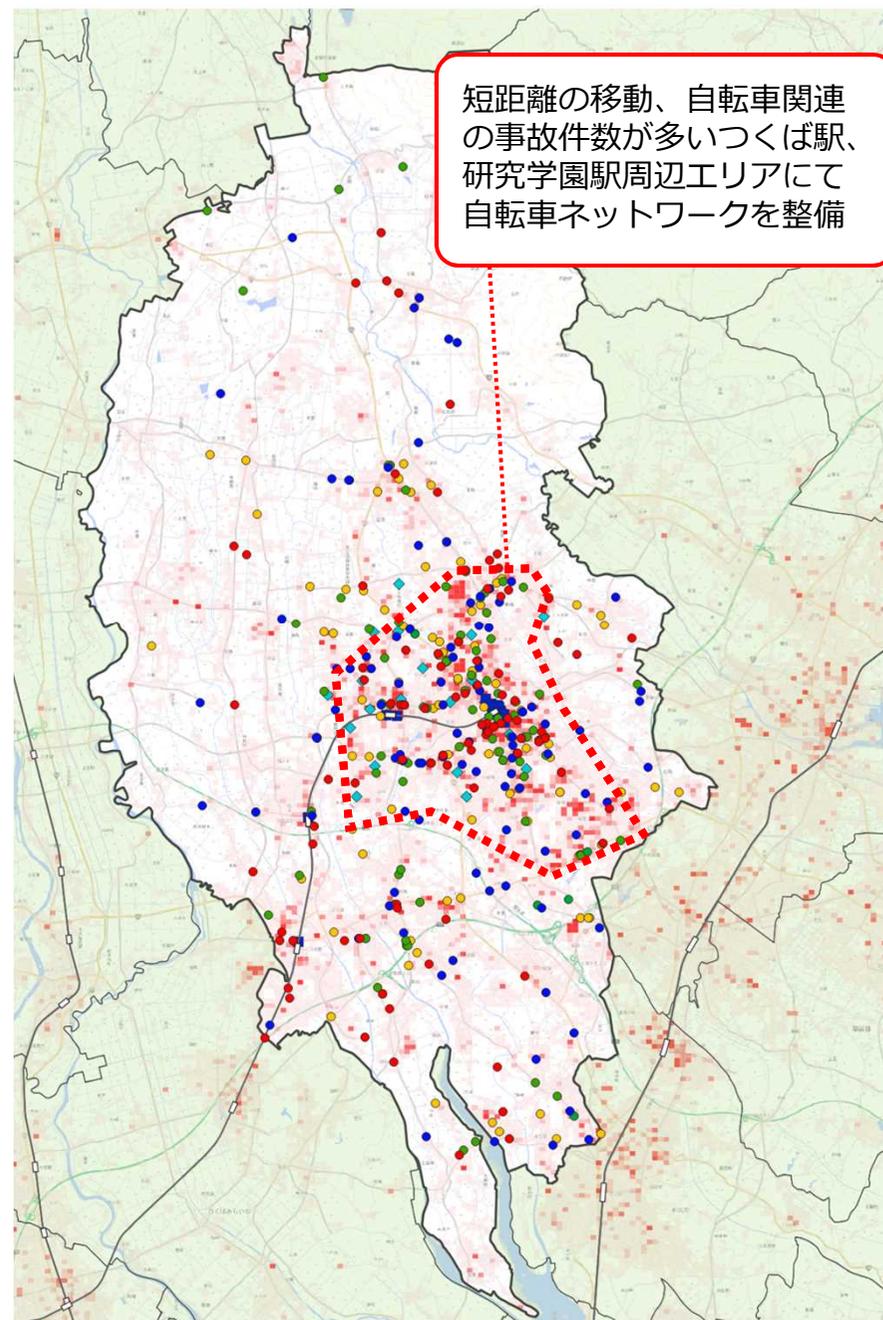
- ◆ サイクルポート (利用回数上位15カ所)
- ◆ サイクルポート (上記以外)
- 駐輪場

4. 日常利用の自転車ネットワークの選定

(4) 日常の自転車ネットワーク整備エリア

<日常の自転車NW整備エリア>

- (1) ~ (3) の内容を踏まえ、日常の自転車ネットワーク整備エリアはつくば駅周辺、研究学園駅周辺を中心に自転車ネットワークを整備する。
- なお、観光の自転車ネットワークは周辺8市街地を結ぶことを想定しており、郊外部は連携して整備を進めていくことを想定する。



4. 日常利用の自転車ネットワークの選定

(5) 日常の自転車ネットワーク路線

- 日常の自転車ネットワークエリア内にて、整備済み路線、いばらき自転車ネットワーク路線も踏まえ、主要施設、シェアサイクルポート、駐輪場を接続するように自転車ネットワーク路線を選定した。
- 東大通、西大通について、歩道を視覚的に分離されているが、代替する路線もないことから、自転車ネットワーク補完路線として選定する。

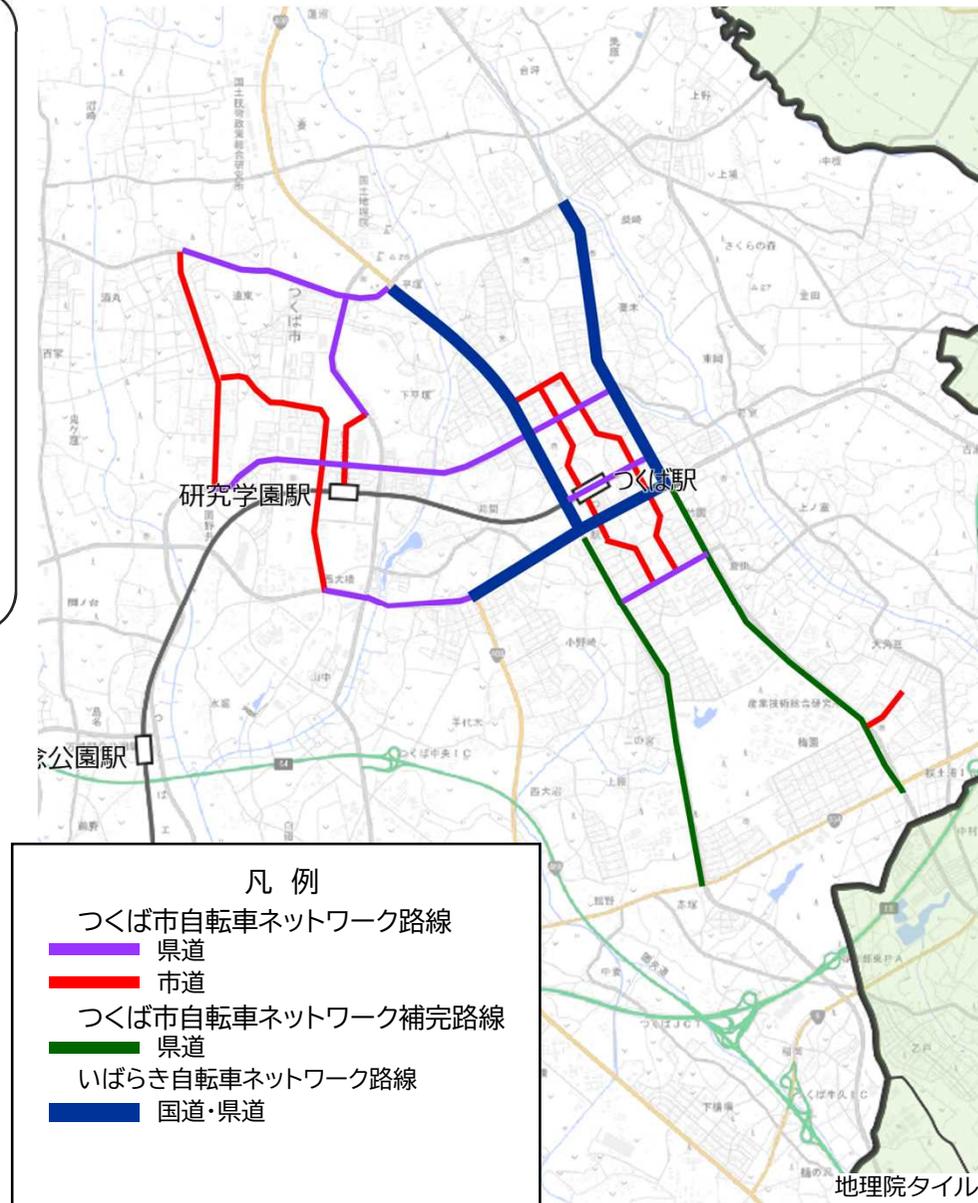
自転車ネットワーク補完路線の設定

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインに「やむを得ず自転車通行空間として歩道のみを活用せざるを得ない場合には、その区間を自転車ネットワーク路線からはずし、自転車ネットワークを補完する経路として活用することを検討するもの」とある。

東大通、西大通は自転車ネットワーク一部として必要な路線となるが、早期の道路再配分等は困難である。

そのため、現状の歩道の視覚的分離を活用するために補完路線として位置づける。

<日常の自転車NW>



5. 観光利用の自転車ネットワークの選定

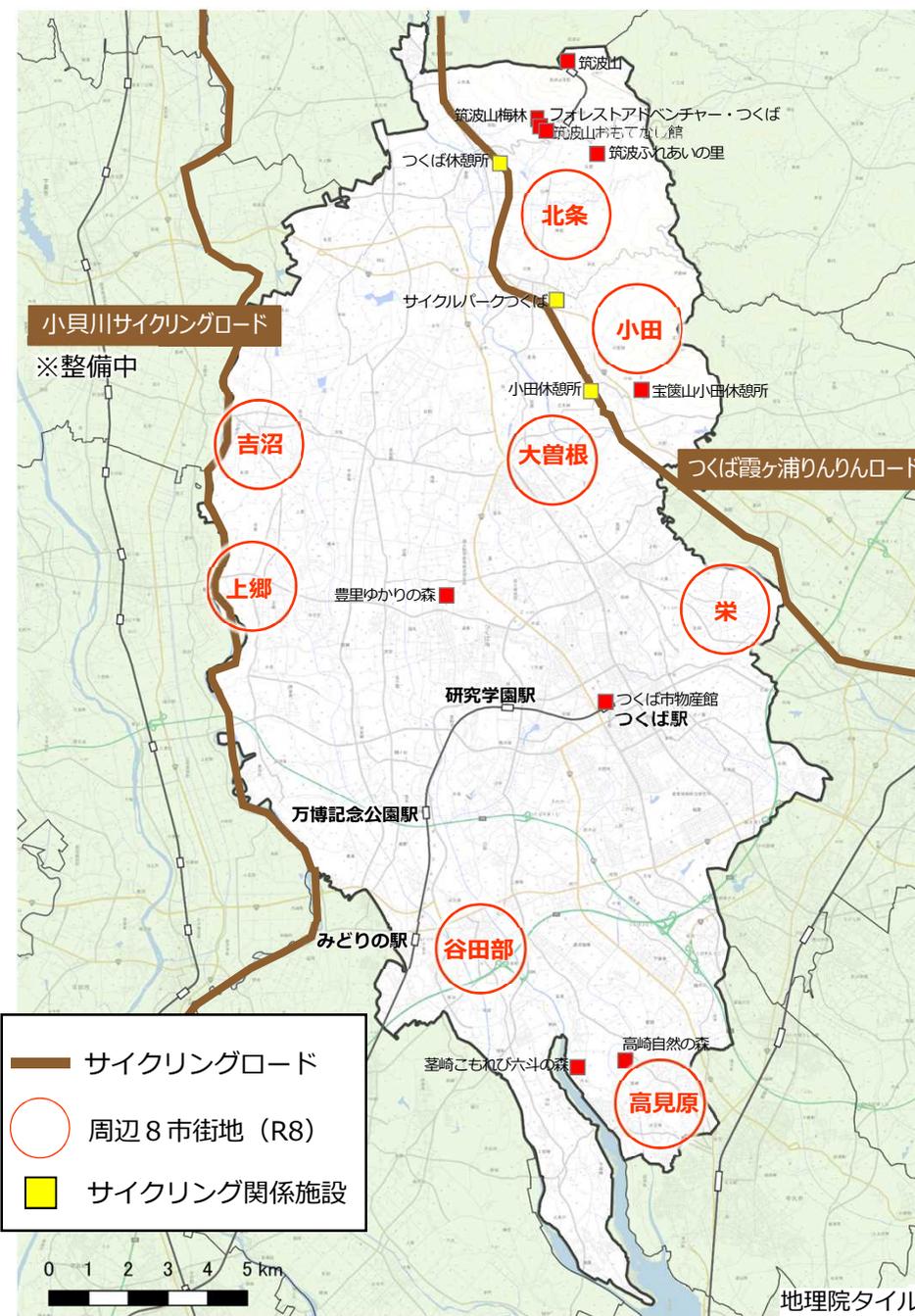
(1) サイクリング関連施設等位置

- 周辺 8 市街地（R8）や、つくば霞ヶ浦りんりんロード、小貝川サイクリングロード、サイクルパークつくば等の施設が点在する。
- これらのサイクリングロードやサイクルツーリズム関連施設や主要駅間を接続する。

<つくば霞ヶ浦りんりんロード>



<サイクルパークつくば>



5. 観光目的の自転車ネットワークの選定

(2) 観光の自転車ネットワーク路線

- 周辺8市街地、サイクリング関連施設を接続する路線として自転車ネットワーク路線を選定した。
- 茨城県の「いばらき自転車ネットワーク路線」や市道を活用し、周辺8市街地やサイクリングロードとつくばエクスプレスの駅間を接続する。



6. 自転車ネットワーク路線の整備形態

(1) 整備形態の選定方針

1) 日常利用のネットワークの整備形態

- 日常利用のネットワークの整備形態については、ガイドラインに示された通行空間の整備形態を基本とするが、車道の再配分の可否や歩道の幅員等の道路状況、シティサイクル等の自転車が主となることから自動車の規制速度等を考慮し、最終的な整備形態については関係機関と調整のうえ決定する。
- 整備済みの歩道の視覚的分離による整備を継続的に活用するものとし、自転車ネットワークを補完する路線とする。

	A 自動車の速度が高い道路	B A、C 以外の道路	C 自動車の速度が低く、自動車交通量が少ない道路
自転車と自動車の分離	分離		混在
整備形態	自転車道 (構造物による)	自転車専用通行帯	車道混在 (矢羽根型路面標示等で注意喚起)
目安	速度が50km/h超	A、C以外の道路	速度が40km/h以下、かつ自動車交通量が4,000台以下

6. 自転車ネットワーク路線の整備形態

(1) 整備形態の選定方針

2) 観光利用のネットワークの整備形態

- 観光利用ネットワークについては、ロードバイク等のスポーツ車の通行が主となることから車道への矢羽根型路面標示を基本とする。

3) その他

- 自転車通行空間をネットワーク化するにあたって関係する県道部分については、整備形態等について茨城県と調整するものとする。
- その他、自転車ネットワーク路線に該当しない路線においても通行空間の整備が必要となった場合は、ガイドラインを参考に整備手法を選定する。

6. 自転車ネットワーク路線の整備形態

- 自転車ネットワークはガイドラインに従い、下記の整備形態で整備することとする。

	自転車ネットワーク路線				自転車ネットワーク補完路線
	自転車歩行者専用道路	自転車道 (構造物による分離)	自転車専用通行帯	車道混在 (矢羽根型路面標示等で注意喚起)	歩道内を視覚的に分離
整備イメージ	<p>自転車と自動車を構造物で分離</p> <p>4.0m以上</p> <p>自転車歩行者専用道路</p>	<p>自転車と自動車を構造物で分離</p> <p>緑石線等</p> <p>歩道 自転車道 (自動車の)車道</p>	<p>車道内で自転車と自動車の通行帯を分離</p> <p>歩道 自転車専用通行帯 他の通行帯 車道</p>	<p>車道で自動車と混在</p> <p>矢羽根型路面表示等を設置</p> <p>歩道 車道</p>	<p>歩道内で歩行者と自転車を視覚的に分離</p> <p>歩道 車道</p> <p>視覚的に分離</p>
整備事例			<p>幅の全部を着色</p> <p>幅の一部を着色</p>	<p>歩道のある道路</p> <p>歩道のない道路</p>	

※写真はガイドラインより